

第四次川越市総合計画
市民参加報告書

平成 27 年 3 月
川越市

目 次

第 1	概要	1 頁
	1 市民意見聴取の目的	2 頁
	2 意見聴取の取組	2 頁
	3 本報告書の構成	2 頁
	4 意見聴取の取組の体系	3 頁
第 2	川越みらい会議報告	5 頁
第 3	各カテゴリー別意見聴取報告	4 1 頁
	1 まちかどインタビュー	4 3 頁
	2 女性限定！おしゃべりカフェ	7 3 頁
	3 大学生インタビュー	8 1 頁
	4 若者ワークショップ	9 5 頁
	5 外国籍市民インタビュー	1 0 5 頁
第 4	エリアインタビュー	1 1 5 頁

第 1 概要

1 市民意見聴取の目的

これからのまちづくりには、市民、自治会、事業者、民間団体、NPO、行政などのネットワークの充実が望まれます。本市におけるまちづくりの指針となる、平成28年度を始期とする第四次川越市総合計画の策定にあたっては、今後のまちづくりの課題や方向性を共有するため、計画の策定段階から積極的な市民参加を図ることを目的として、市民意見の聴取を実施しました。

2 意見聴取の取組

第四次川越市総合計画策定に係る意見聴取として、下記の取組を実施しました。

〈平成26年度実施〉

- (1) 川越みらい会議
- (2) カテゴリー別意見聴取
 - ① まちかどインタビュー
 - ② 女性限定！おしゃべりカフェ
 - ③ 大学生インタビュー
 - ④ 若者ワークショップ
 - ⑤ 外国籍市民インタビュー

〈平成25年度実施〉

- (3) エリアインタビュー

3 本報告書の構成

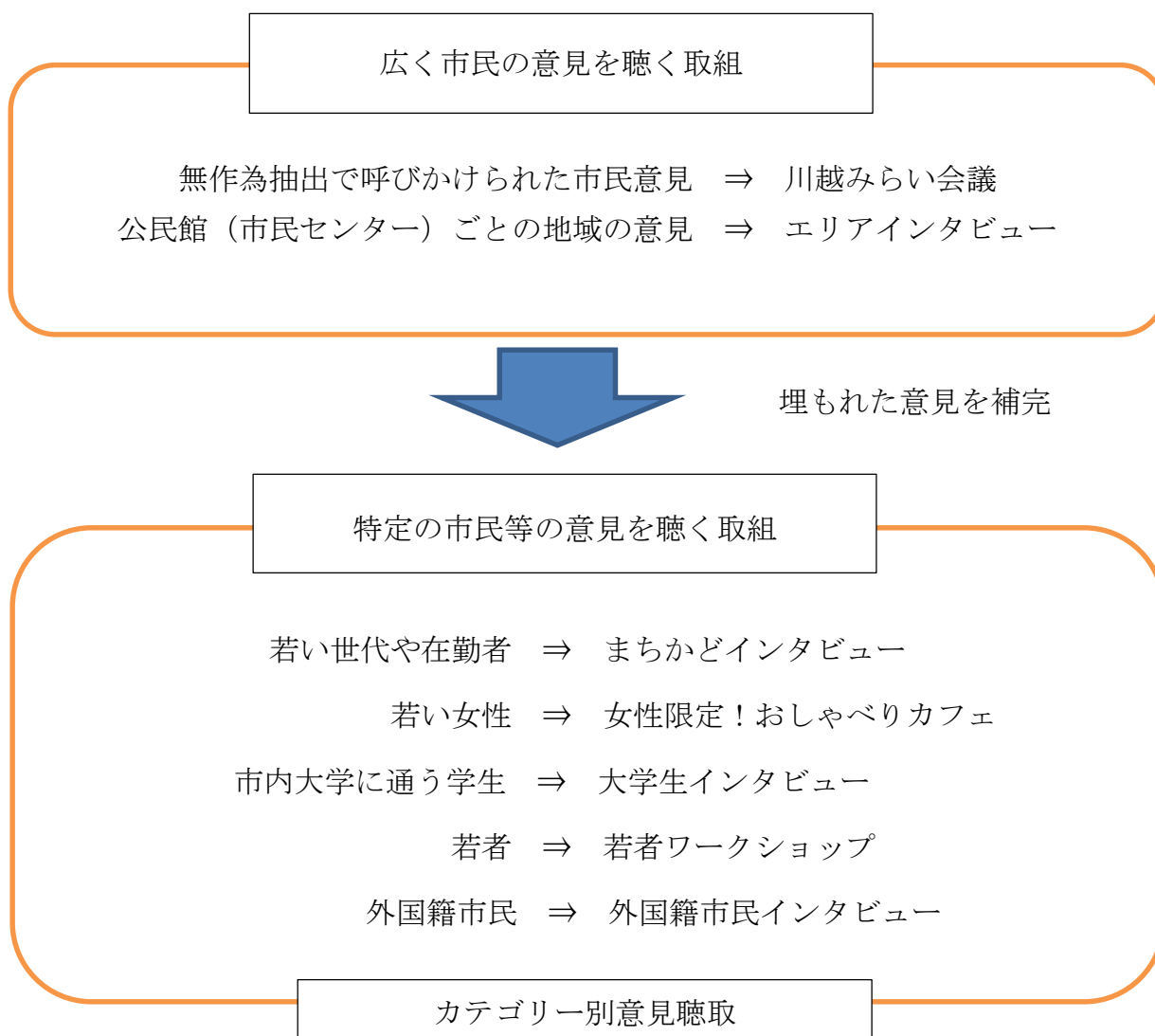
市民意見聴取の概要を第1（1頁）で、それぞれの市民意見聴取の詳細結果は、川越みらい会議を第2（5頁）、各カテゴリー別意見聴取の結果を第3（43頁）で、平成25年度に実施したエリアインタビューの結果を第4（115頁）で報告します。

4 意見聴取の取組の体系

意見聴取の取組は、大きく分けて①広く市民の意見を聴くものと②特定の市民等を対象としたカテゴリー別で意見を聴いています。

このようにすることで、幅広く市民の意見を集めるとともに、埋もれてしまいがちな市民の声を聴くことにより、総合計画の策定に必要な市民の声を得ることができます。

- (1) 広く市民の意見を聴く取組として、無作為抽出により呼びかけられた市民による川越みらい会議や公民館の地域ごとにエリアインタビューを行いました。
- (2) 特定の市民等を対象としたカテゴリー別で意見を聴く取組として、在勤・在学者を対象としたまちかどインタビュー、女性・大学生・若者・外国籍市民を対象とした各種インタビューなどを行いました。



第2 川越みらい会議 報告

1 川越みらい会議実施要領

(1) 目的

総合計画の策定（将来都市像や施策の大綱等の策定）の参考とするため、無作為抽出により参加を呼びかけた市民により、本市の今後のあるべき姿等について話し合いを行う。

(2) 名称

「川越みらい会議」とする。

(3) 実施日

開催日	開催時間
平成26年9月6日（土）	午後1時から午後4時まで
9月7日（日）	
9月13日（土）	
9月14日（日）	
9月20日（土）	
9月21日（日）	

(4) 実施場所

本庁舎会議室（7AB）

(5) 実施方法

ア 参加者の募集

18歳以上の市民3000名から無作為で抽出して行う市民満足度調査のアンケート調査票に案内を同封する。なお、参加希望者の中から、60名程度を参加登録者とする。

イ 参加者の条件

18歳以上で、6日間の会議のうち3日程度参加できる市民とする。

ウ 参加者への謝礼

1回の参加に対し3000円を支払う。

エ 参加者の定員

1回30名程度とする。

オ スケジュール

① 事前説明

8月下旬に、参加希望者に対して川越市の状況等の説明資料を送付する。

② グループ討議

施策の分野（章）ごとの討議を、1つの分野（章）ごとにグループメンバーを変えながら行う。日程は、下表のとおり。

③ エンディング

会議最終日である9月21日（日）に、「どんな川越であれば住み続けたいか」という一つのテーマで、ワールドカフェ方式の話し合いを行う。

ワールドカフェの終了後には、最終日の出席者に対し、全日程で出た主な意見などを紹介しながら、振り返りを行う。

○会議開催スケジュール

日にち	時間	内容
9月 6日（土）	13：00～16：00	保健・医療・福祉 ・児童福祉や高齢者福祉など
9月 7日（日）	13：00～16：00	教育・文化・スポーツ ・学校教育、生涯学習、スポーツなど
9月13日（土）	13：00～16：00	都市基盤・生活基盤・環境 ・交通、公園、景観、自然環境など
9月14日（日）	13：00～16：00	産業・観光 ・商業、工業、農業、雇用、観光など
9月20日（土）	13：00～16：00	地域社会と市民生活 ・地域コミュニティ、防犯、防災、交通安全など
9月21日（日）	13：00～16：00	どんな川越であれば住み続けたいか ～エンディング～

2 川越みらい会議の結果

- ① 魅力、課題、力を入れるべき取組について、観光と地域コミュニティについての意見が多い。
- ② 情報の必要性や交通についての意見が多い。
- ③ 個別施策の参考意見
 - ・年齢層に合うPR媒体の多様化、情報発信の活性化
→市政情報の発信
 - ・市民の声を得る機会の拡大、PDCAサイクル（市民と行政で行う）
→成果を重視したマネジメントサイクルの確立
 - ・健康づくりのためのお散歩マップをつくる
→健康づくりの推進
 - ・川越いも以外にもっと有名な川越ブランドをつくる
→農業の振興、新しい産業の育成
 - ・来訪者参加型の祭りや地元以外の者も参加できる川越まつりを行う
 - ・カード利用ができるお店を増やす
 - ・まつりを通して交流や他地区とのつながりを深める
 - ・観光による経済効果が得られるようにする
→戦略的な観光事業の推進
 - ・本の返却ポストを駅につくるなど、図書館の充実
→図書館サービス網の整備・充実
 - ・川越在住、在勤ができるまちに
→雇用の促進と労働環境の改善

〈将来都市像〉（出された将来都市像の全てを掲載）

- ・観光資源を発掘し、中心と周辺が放射状につながるまち
- ・歴史、文化、自然が調和し、恒久的に発展し続けるまち
- ・一人一人が川越のまちを自慢できる（他県・他市）、最後の一人まで目が届く（高齢者、障害者、子育て世代）、住み続けられる（故郷を大切にできる）まち
- ・観光に来た人、住んでいる人、老若男女問わず、だれでも安心・安全にすごせるまち
- ・歴史と伝統、文化を守りながら、人と地域をつなげていくまち
- ・活気ある観光に力を入れる子育てのしやすいまち

〈魅力〉（多く意見が出された施策）

- ・ 新たな観光事業の推進（4-2-1）
- ・ 地域コミュニティ活動の推進（6-1-1）
- ・ 公共交通機関の充実（3-2-3）
- ・ 保健衛生・医療体制の充実（1-2-2）
- ・ 農業の振興（4-1-3）
- ・ 文化財の保存・活用（2-3-2）

〈課題〉（多く意見が出された施策）

- ・ 新たな観光事業の推進（4-2-1）
- ・ 公共交通機関の充実（3-2-3）
- ・ 地域コミュニティ活動の推進（6-1-1）
- ・ 道路交通体系の整備（3-2-1）
- ・ 交通円滑化方策の推進（3-2-1）

〈力を入れるべき取組〉（多く意見が出された施策）

- ・ 新たな観光事業の推進（4-2-1）
- ・ 観光環境の整備（4-2-2）
- ・ 地域コミュニティ活動の推進（6-1-1）
- ・ 市民参加と協働の推進（0-1-1）
- ・ 商業の振興（4-1-4）

※（ ）内は第三次川越市総合計画後期基本計画の施策番号

3 総合計画の体系別にした市民等の言葉

(1) 将来都市像に係る言葉

川越みらい会議の最終日（エンディング）では、ワールドカフェ方式により4ラウンドの話し合いを実施し、各6テーブルで1つずつ川越市の将来都市像について提案が出された。

(第1班)

観光資源を発掘し、中心と周辺が放射状につながるまち

(第2班)

歴史、文化、自然が調和し、恒久的に発展し続けるまち

(第3班)

一人一人が川越のまちを自慢できる（他県・他市）、最後の一人まで目が届く（高齢者、障害者、子育て世代）、住み続けられる（故郷を大切にできる）まち

(第4班)

観光に来た人、住んでいる人、老若男女問わず、だれでも安心・安全に過ごせるまち

(第5班)

歴史と伝統、文化を守りながら、人と地域をつなげていくまち

(第6班)

活気ある観光に力を入れる子育てのしやすいまち

(2) 基本目標に係る言葉

～10年後を見据え、川越の進むべき方向性についての話し合いの結果～

●保健・医療・福祉

- ・医療福祉のさらなる充実。
- ・自宅と目的地との時短化。
- ・10年後も今の医療レベルが維持できるとよい。
- ・若い人が住み続ける、働く場所がある。
- ・バリアフリー あらゆる年代の方が住みやすいまち（←財源）。
- ・次世代に負担（つけ）を残さないようにする。
- ・安く（年金で）入れる施設の建設。
- ・いざ病気の時に頼れる街。
- ・みんなが分かりやすいシステムの構築。
- ・保健・医療・福祉に関する情報の共有と市民自身の情報の活用。
- ・行政に頼るのではなく、市民が主役となって作り出すまち。
- ・こどもの笑顔がたくさんある町。
- ・市の役割として、金を出す、場を作る、コーディネートをする。

●教育・文化・スポーツ

- ・生涯学習の機関、機会を増やす。（図書館など）
- ・時代に即した教育制度の見直し。（中高・小中一貫校の設置、学区制の撤廃）
- ・豊富な文化資源の有機的活用。
- ・地域の生涯学習活動と市の文化事業が定期的かつ継続的に開催されているまちを目指します。
- ・異世代間で学習・文化活動を行える施設が用意されているまちを目指します。
- ・女性が社会参加するための環境が整っているまちを目指します。
- ・一人ひとりが楽しく学べるまち。
- ・一人ひとりが「つながる」まち。
- ・一人ひとりが川越を大切にし、誇りを持てるまち。
- ・人とのふれあいや交流を積極的に進め、新たな文化を発信するとともに、学校や地域の中で多様な世代同志が学びあえるまちを目指します。
- ・地域センターや空き家を活用し、地域のいろいろな人が集まれる場
- ・学習センターを活用し、365日好きなことを教えてもらう場。
- ・蔵造りの保存を担える、人材の確保をしてほしい。
- ・元プロ選手が教えるスポーツ教室を通じたスポーツの活性化

●都市基盤・生活基盤

- ・学園都市とする。
- ・文化、芸術、自然の豊かなまち。
- ・若い人に魅力のあるまちづくり。

- ・市街地外（郊外）の生活サービスの向上。
- ・いつまでも住みたくなるまち。
- ・自動車に頼らないまち。
- ・観光客と市民に優しいまち。
- ・建造物を保存しつつ町を形成し環境を考慮した町（中核都市に相応しい顔）。
- ・若い人からお年寄りまで「住みたい」と思うまちづくり。
- ・様々な国の方が共生し、楽しい暮らしを実現するまち。
- ・安心して暮らせる交通環境の整備されたまち（歩車分離）。

●産業・観光

- ・もう一回行ってみたいと思えるまち。
- ・若者を呼べるまち。
- ・おもてなしが実感できるまち（観光客に対して市民が親切にできる等）。
- ・歴史文化だけでなく、武蔵野の雑木林も現存するまち。
- ・市民も楽しめる「歴史・武蔵野」ツーリズムができるまち。
- ・大きな工場団地を開発し、人口減少を食い止める。
- ・周辺地域と連携した産業（生活・消費）システムのあるまち。
- ・歴史と伝統を守りつつ、新しい文化を積極的に取り入れていくまち。
- ・官ではなく、民が作り上げてきた川越の文化をいかす。
- ・「川越にしかない」があるまち 川越まつり、B級グルメ（サツマイモを活かす）。
- ・自然を守りつつ産業を発展させるまち。
- ・川越在住、在勤ができるまち。
- ・小江戸「川越」で終わらない街。
- ・先進的な手法を取り入れ誰でも住みやすい街（チャレンジする街）。
- ・自然がある街。
- ・体験できる街。
- ・若い人にとって敷居の高くない街。
- ・川越ブランドが充実した街。
- ・観光客に喜んでもらえる街。
- ・商売が元気ある街。
- ・イメージを生かした街。
- ・今あるものを生かした街。
- ・観光に特化した街（日本中・世界から）。
- ・若い人の集まり住む街。
- ・高齢者にとっても住みやすい街。
- ・ふれあいの場のある街。
- ・生きがいを感じる街。
- ・コミュニティの充実した街。

- ・新しい目玉のある街。
- ・活気のある街。
- ・農業を通じた地域のつながりがあるまち。
- ・1つのテーマに則り、商店街と地元業者を軸にして活気があるまち。
- ・ハード面だけでなく、ソフト面でのバリアフリーが進んでいるまち。
- ・地域ぐるみでおもてなしをみんなが協力できるまち。

●環境

- ・異常気象（災害）に強いまち。

●地域社会と市民生活

- ・元気になるため、スポーツや交流等の活動を行い、みんなが健康的な生活を送って行ける街。
- ・よいところは残し、悪いところは改善し、明日を見つめていく街づくり。
- ・安全（安心）な街川越。
- ・住みやすい街。
- ・市民、民間団体、事業者、行政が知恵を出し合える協働によるまちづくり。
- ・親しみのある活発なまちづくり。
- ・防災と交通ルールに関心を持ち、実行していく町。
- ・女性が安心して働ける町。
- ・老人福祉の充実している町。
- ・互いを信頼しあえる町。
- ・若い力を取り入れた、世代間交流できる町。
- ・若い人が集まってくるまち。
- ・地域のつながりを感じられるまち。
- ・顔と名前が分かるまち。
- ・タテ、ヨコがつながれるまち。
- ・犯罪が少ないまち。
- ・歴史的にも最も住みよい街。
- ・ふれあいのある街。
- ・高齢者などが生きがいをもてる街。
- ・観光客にもさらに喜ばれる街。
- ・安心、安全な街。
- ・交通事故、事件が少ない街。

(3) 魅力に係る言葉

～川越に住んでいて、良いと感じる点についての話し合いの結果～

●共通

○市民参加と協働の推進 (0-1-1)

- ・行政の市民参加。

○広域行政の推進 (0-3-1)

- ・川越ナンバー。

●保健・医療・福祉

○児童福祉の推進 (1-1-1)

- ・比較的保育園に入りやすい。
- ・保健センター等の子育て教室等が充実している。

○高齢者福祉の推進 (1-1-2)

- ・ケアマネさんが親切だった。
- ・介護サービスが充実。
- ・高齢者向けの割引等のサービスが充実している。
- ・シャトルバスの高齢者割引、高齢者が利用しやすい時間帯が考慮される。

○障害者福祉の推進 (1-1-3)

- ・特別支援学級の介助員さんが多い(←重度の障害児も普通の学校で学べる)。
- ・障害者福祉が充実。

○地域福祉の推進 (1-1-4)

- ・民生委員が活動している。

○保健衛生・医療体制の充実 (1-2-2)

- ・中小規模の診療所の数が多い。
- ・一般的な医療機関が充実している。
- ・病院（歯科、接骨院）、高齢者施設が多い。
- ・埼玉医大、川越救急クリニックがある
- ・病院（小さい医院）が多い。検診カレンダーの配布がある。
- ・子供医療費受給者証の対象が中学生までで延長されている。
- ・特定検診が利用しやすい。
- ・乳幼児医療制度が他市より進んでいる。
- ・中三までこども医療費控除、風しん抗体検査（無料）をうけられた。
- ・こども医療費がかからない。
- ・子供の医療費が無料。
- ・定期健診がある。
- ・休日、夜間診療等が充実している。

○その他

- ・素朴でやさしい。

●教育・文化・スポーツ

○生涯学習環境の整備・充実（2-1-1）

- ・図書館と小学校の併設施設が近所にある。

○生涯にわたる学習活動の推進（2-1-2）

- ・生涯学習施設の中身が充実。
- ・公民館活動が盛んである。
- ・地域の公民館で自転車の乗り方を学び役に立った。

○豊かな人間性をはぐくむ教育の推進（2-2-1）

- ・伝統のある市内の高校が文化祭などを頑張っている。
- ・通学のマナーが守られている。
- ・大学生の活動が盛ん。

○教育環境の整備・充実（2-2-2）

- ・学校給食が充実している。
- ・大東地区は教育施設が固まっていて住みやすい。
- ・学校が多い（小・中・高・大学、農業・工業・商業 等）。
- ・市内に学校教育機関（高校・大学）が充実している。
- ・学校が多い。

○芸術文化活動の充実（2-3-1）

- ・美術館・博物館が充実。安い。
- ・食文化もよい。
- ・美術館や博物館が多い。
- ・地域成熟度の違いにより、特色のある文化がそれぞれ育まれている。
- ・地区の文化祭、音楽祭等、盛んに行われている。（南古谷地区）
- ・文化施設がある。

○文化財の保存・活用（2-3-2）

- ・古い文化財が生かされている（新しい建物が景観に合わせている）。
- ・昔からの建造物（時の鐘など）が今も問題なく整備され、かつ使える状況である。
- ・文化財や、その案内表示などが整備されている。
- ・歴史のある街なので、よく都内の友達を紹介している。
- ・歴史的な建物が保存されている点。
- ・寺、神社が多くある。それを後世に引き継げればいい。
- ・歴史がある。
- ・歴史あるものが多く残っている。

- ・城下町。
- ・歴史的建造物が多い。
- ・歴史的遺産がある。

○生涯スポーツの推進（2-5-1）

- ・2020年オリンピックの候補地として決定（ゴルフ：霞ヶ関カントリー）。
- ・川越運動公園の施設が充実している。
- ・岸町ふれあい広場が近くにある。身近なところに公園があることで、スポーツに親しむことができる。
- ・スポーツ分野では川越運動公園があり、規模の大きなイベントなどができる。
- ・霞ヶ関カントリー等もあり、スポーツ・イベントが多く開催される。
- ・運動公園などは、必要最小限ある。
- ・伊佐沼公園・運動公園が利用しやすい。
- ・マラソン大会がある。

○その他

- ・テレビ等で川越が紹介されるとうれしい。
- ・オアシスできるイベントが充実している。
- ・地域への愛着が強い

●都市基盤・生活基盤

○景観に配慮したまちづくり（3-1-4）

- ・歴史的な街並み、景観や田園風景が保存されている。
- ・電柱の地中化。
- ・歴史的な建造物が多いことが強み。
- ・電線地中化がなされていて、歩行者に支障が少ない。景観がよい。
- ・蔵造りの街並みが良い。
- ・蔵造りの町並み。

○道路交通体系の整備（3-2-1）

- ・新河岸は道路を造っている。完成するとよくなると思う。
- ・川越 IC がある。

○交通円滑化方策の推進（3-2-2）

- ・レンタサイクルがある。

○公共交通機関の充実（3-2-3）

- ・住環境において鉄道を始め交通が便利（地域差はある）
- ・バスがたくさん通る。交通の便が良い。
- ・交通の利便性がいい。
- ・交通の便が良い。
- ・公共交通機関（鉄道）の利便性がよい。主要3路線があることが強み。

- ・ 都会に出やすい。
- ・ 複合路線が便利。
- ・ 通勤に便利（都内まで遠くない）。
- ・ 都内に出やすい。
- ・ 交通の便がよい。
- ・ 都内とのアクセスがよい。
- ・ 交通の便が良い（電車）。
- ・ 鉄道の利便性。
- ・ 交通の便がよい。（バス、電車等）
- ・ 交通アクセスが良い。

○治水事業の推進（3-3-1）

- ・ 災害が少ない（護岸工事が進んだ）。
- ・ 河川の改修がされている。

○公共下水道等の整備（3-3-3）

- ・ 雨水・汚水対策が良くなった。下水道も整備されている。
- ・ 衛生的であり上下水道の普及が進んでいる。
- ・ 上下水道の整備がよい。

○水辺と森林の整備（3-3-4）

- ・ 新河岸川がだいぶ整備されてきた。

○公園の整備と充実（3-3-5）

- ・ 公園、サイクリングロード
- ・ 川越水上公園の施設が良い。利用料金もリーズナブル。

○その他

- ・ 素朴でやさしいまち。
- ・ 城下町の誇りが市民にある。
- ・ 行政等の指導により、素直に対応できる市民の気質がある。
- ・ 行政の対応が昔よりよくなっている（市民目線）。

●産業・観光

○地域振興拠点の整備と新しい産業の育成（4-1-1）

- ・ ある産業に特化していないから、何かあっても崩れにくい。
- ・ 商業農業工業のバランスが良い。
- ・ いろいろな職業のバランスが取れている。
- ・ 大企業の本社がある。

○農業の振興（4-1-3）

- ・ 農家が多い。新鮮な野菜が多く手に入る。
- ・ 野菜直売所。

- ・農産物直売所（個人）が多い。
- ・地産地消ができています。
- ・さつまいもといった特産品がある。
- ・農業が盛んで、米と野菜が市内でほぼまかなえる。
- ・農業が多く、軒先で野菜を売っていたりする。
- ・農産物など物価が安い。
- ・田園面積が広く、バランスがいい。
- ・農家の後継ぎがいる。
- ・農家があり野菜が安い。

○商業の振興（4-1-4）

- ・商業地域が固まっていて、物価も安く、住みやすい。
- ・商店街の規模が東上線では指折りの大きさ（クレアモール）。
- ・交通の便がいいため、商業、工業共に上手くいっている。
- ・デパートなど、大きな商業施設がある。若い人にとっては魅力的である。
- ・クレアモール、菓子屋横丁といった地場商店街が元気である。
- ・古くからある、個人営業のお店が残っている。
- ・クレアモールがある（活気がある）。
- ・住み心地のよいまち、クレアモールに若い人が多くて賑わっている。
- ・お店が多い。

○工業の振興（4-1-5）

- ・工業が多いが、空気がいい。
- ・工業団地がある。
- ・移住者の増加により工業団地・企業誘致の活性化。

○新たな観光事業の推進（4-2-1）

- ・お祭りが多い。いい面だけでなく悪い面もあるだろうが。
- ・川越まつり、蔵造りのまちなみ、菓子屋横丁がある。
- ・川越まつりの有する歴史。
- ・観光の核となるべく施設や祭りがある（蔵造り、川越まつり）。
- ・観光資源がたくさんある。（蔵造りの町並み、喜多院、鐘つき堂）
- ・大きな柱になるものがある。（川越まつり、だるま市）
- ・歴史があり、祭りがある（市民が支え、多くの人に参加をする。）。
- ・まつり会館、一番街、蔵造り。
- ・観光地でお客さんがたくさん来る。
- ・川越というまちが全国的に知られている（朝ドラの影響もあり）。
- ・ゆるキャラがいる。
- ・アニメの聖地になっている。
- ・地ビールがある。

- ・観光資源が多い、寺院が多い。
- ・観光地として有名
- ・川越まつり・百万灯まつり
- ・川越祭り等、伝統的なイベントが多い。
- ・川越まつり、蔵造りのネームバリューがある。
- ・川越まつりなど、祭礼行事が盛ん。
- ・お祭りやイベントが多くある。

○観光環境の整備（4-2-2）

- ・トイレがたくさんある。

○その他

- ・都会過ぎず、田舎過ぎず住みやすい。
- ・パワースポットがある。（氷川神社）
- ・市民が川越を好き。
- ・庭がきれい。
- ・気軽に外かけて見られる。

●環境

○ごみの減量化、資源化（5-2-2）

- ・ゴミの収集、処理が優れている。
- ・粗大ごみを扱ってくれる。（入間市はだめだった）。
- ・みなさんがごみ出しのルールを守ってくれる。

○自然環境の保全（5-3-1）

- ・自然が多い、緑が多い。
- ・緑地、川が多い。
- ・環境が良い（自然、住みよい、市内の商業施設が充実）。
- ・自然が豊かで歴史的環境が多い。
- ・緑地（森林）が残っているので、心が和む。
- ・自然が多い。
- ・住んでいる人の気質も自然環境も穏やかな気がする。
- ・雑木林が多い。みんなが歩けるようにしていければいい。
- ・自然豊か。

●地域社会と市民生活

○地域コミュニティ活動の推進（6-1-1）

- ・ご近所の声かけが多い。
- ・雪かきのコミュニケーション。
- ・まつりを中心としたコミュニティ、つながり。

- ・美術など、文化を通じたコミュニティを広げやすい。
- ・地区のつながりが強い（仲間意識、若い人・高齢者であって）。
- ・催し物が多く、横でつながりがある。
- ・公民館活動をはじめとして、つながりがある。
- ・女性セミナー等で世代間交流ができる。
- ・花を植える活動をはじめとする環境活動が盛ん。
（話し合いの場や地域のコミュニティ形成にもつながる。）
- ・自治会活動を通して得る知識。
- ・自治会活動が盛ん。
- ・自治会活動が積極的（地域が仲が良くて住んでいて安全）。
- ・自治会活動が盛んである。（災害対策など）
- ・魅力的な地域の活動。
- ・自治会活動がよい。

○防災体制の整備（6-2-1）

- ・災害が少ない。
- ・防災無線。
- ・災害が少ない。
- ・災害が少ない、水害など（海がないから）。
- ・防災訓練で避難所での簡易トイレの組み立て方を学んだ（具体的で良かった）。
- ・治安がいい、災害がない。
- ・災害が少ない。
- ・自然災害が少ない。
- ・災害が少ない。
- ・災害がない。

○消防・救急体制の整備（6-2-2）

- ・広報を通してのアピール（AED講習会）。

○防犯対策の推進（6-2-3）

- ・警察と市民の距離が近い。
- ・防犯パトロールの充実・知名度がある。
- ・パトロール活動が盛んで防犯意識が高い。
- ・警察がすぐ来てくれる。
- ・振り込め詐欺への対応→方法への指導。
- ・防犯面良し、パトロールをされていて安心。
- ・振り込め詐欺などの対応が多い。
- ・LEDの街灯に変わった。
- ・交通安全、防犯、環境意識の高さ。
- ・治安が悪い地区がない。

○その他

- ・生活リズムがゆったりしているので、移住しやすい。
- ・優しい、親しみやすい人柄。
- ・住みやすい。



グループでの話し合いの様子

(4) 課題に係る言葉

～川越に住んでいて、課題と感ずる点についての話し合いの結果～

●共通

○市民参加と協働の推進 (0-1-1)

- ・市民が受けられる情報はこまめに。
- ・広報の情報が読みづらい。
- ・市役所（の仕事）が見えない。
- ・当事者の意識を取り入れるシステム、工夫。
- ・制度の使い方や、存在自体を知らないことがある。
- ・情報が少ない。
- ・施設利用方法の周知不足。
- ・広報が弱い。
- ・タウン誌の充実（お金がかかっても・・・）外国人観光客向けも。

○新たな行財政システムの構築 (0-2-1)

- ・土日の相談窓口がない。
- ・よりよい川越市を創造するため、もっと真剣な姿勢が必要と思う。
- ・多様なニーズに対応できていない。

○効率的な社会資本整備の推進

- ・行政施設の将来ビジョンが見えない。
- ・市の施設が中央に集中。
- ・ハード面を整備して、ソフト面につなぐ（子供から高齢者まで関われる施設）。

○財源の確保 (0-2-3)

- ・財源を増やす（←観光客を増やす）。
- ・緑地に対する税金が高い。

●保健・医療・福祉

○児童福祉の推進 (1-1-1)

- ・市立幼稚園がない。
- ・保育士の人数確保とその調査。
- ・保育園が少ない。
- ・保育園が少ない。
- ・（幼稚園は）私立はあるが公立が少ないので金額面で厳しい。
- ・保育の充実。
- ・幼稚園のお弁当が大変。

○高齢者福祉の推進 (1-1-2)

- ・マッサージ券ではなく、ほかの方法を。その上でそれをPRする。
- ・1人暮らしになった時の手立てがない。

- ・バリアフリー化が遅れている。

○障害者福祉の推進（1-1-3）

- ・障害者の就学、生活の場を増やして欲しい
- ・西口バスターミナルの椅子がない。駅のバリアフリー化。
- ・障害者が利用できる施設が少ない。

○地域福祉の推進（1-1-4）

- ・包括支援センターの職員数が少ない（気軽に相談できない）。

○社会保障の推進（1-1-5）

- ・在宅の巡回介護の充実。
- ・道が狭く、介護事業所の車が止まると渋滞が発生するなど問題。

○健康づくりの推進（1-2-1）

- ・健診に魅力がない（受診率も低い）。
- ・自分（高齢な方）が予防的な意識を持って欲しい（→オアシスなどを活用して欲しい）。

○保健衛生・医療体制の充実（1-2-2）

- ・中核病院へ行くための交通手段が充実していない。
- ・大病院が少ない。
- ・専門的な医療機関が欲しい
- ・救急、産婦人科、高齢者専門病院を増やしてほしい（駅前に総合病院）。
- ・救急搬送先がなかなか決まらない。
- ・こども医療費を高校生まで拡大して欲しい。
- ・総合病院が少ない。保健所を分散してほしい。
- ・産婦人科、小児科が少ない。
- ・病院が少ない。（小児科・産科）

○その他

- ・犬のフンが放置されている。

●教育・文化・スポーツ

○生涯学習環境の整備・充実（2-1-1）

- ・図書館、本屋が減っている。
- ・公民館活動が縮小傾向にある。

○生涯にわたる学習活動の推進（2-1-2）

- ・生涯学習の場（機会）が少ない。
- ・生涯学習に関するPRが不足している。
- ・生涯学習センターや国際交流センター等の場所の周知。

○豊かな人間性をはぐくむ教育の推進（2-2-1）

- ・外国人観光客などが今後増加することが見込まれるなか、英語教育を充実させ、

まちなかで児童生徒が外国人と交流を図れるようにしてほしい。

- ・挨拶をしっかりとできるようにして、勉強だけではなく、社会人として、一人の大人として、自立できるようにしてほしい。
- ・教育を改めてほしい。

○教育環境の整備・充実（2-2-2）

- ・各学校の間隔が狭い。
- ・学区制の撤廃及び見直し。
- ・学校の空調が悪い。（エアコンがない）
- ・学校開放を積極的に進めてほしい。40年前から住んでいるが、昔と変わらない。

○芸術文化活動の充実（2-3-1）

- ・地域の核となる文化施設がない。
- ・市民会館などで行われている文化事業が少ない。
- ・地域によって文化施設、スポーツ施設の設置数に偏りがある。

○生涯スポーツの推進（2-5-1）

- ・高齢者向けの施設が不足。（高齢者ができるスポーツ施設イベントは行っているのか？）
- ・スポーツ施設が少ない。
- ・スポーツに関して気軽に参加できる施設があるとよい（高齢化社会を迎えるにあたり、みんな元気であるため）。
- ・高齢者のプールが少ない。

○その他

- ・クラッセの駐車場が有料。クラッセ目的でない人も来る。

●都市基盤・生活基盤

○計画的なまちづくり（3-1-1）

- ・駅の周辺に高層ビルやマンションが多すぎる。
- ・蔵造り部分と周辺の都市づくりについて温度差がある。

○都市拠点の整備（3-1-2）

- ・3駅間の乗継が不便（道路、システム）。
- ・本川越駅から川越市駅までの乗り継ぎが悪い。

○道路交通体系の整備（3-2-1）

- ・道路が狭い（一方通行、袋小路が多い）。災害時の逃げ道の心配。
- ・行き止まり道路が多く、不便。交通渋滞。
- ・道路が狭い（外側線がないほうがいい）。
- ・道路の雨水排水が悪い。
- ・道路管理（狭い、歩道整備されない）。

- ・狭道や一方通行が多い（道路状況が悪い）。
- ・道路整備が進んでいない箇所がある。
- ・中心市街地は、道路が狭いなどの課題。
- ・自転車が走れない（道が狭い）。
- ・害鳥（ムクドリ対策）が必要。
- ・街路樹・街灯が少ない。
- ・道路が狭い。

○交通円滑化方策の推進（3-2-2）

- ・鉄道駅へのアクセスが不便である。
- ・駐車場の少なさ→渋滞の発生につながっている。
- ・駐車場が少ない。
- ・利用案内と誘導（人と案内板）を明瞭にするべき。（道路、鉄道）
- ・一番街の交通量が多すぎる。（観光客が危ない）
- ・郊外の観光地をつなぐアクセスが悪い。（ストーリーはつながっているため、もったいない。）
- ・川越駅と本川越駅のアクセス。
- ・一番街の交通マナーが悪い。
- ・施設へのアクセス向上の為のインフラ整備。
- ・2020年のオリンピックに向けてゴルフ場等へのアクセスの具体化。
- ・一番街の交通問題。
- ・自転車が走りづらい。

○公共交通機関の充実（3-2-3）

- ・川越線が単線で本数が少ない。
- ・川越駅東口のバス停が使いづらい。
- ・川越駅西口のバスが混んでいる。（雨天時は時に）
- ・宅地開発にバスの本数が追いついていない。
- ・シャトルバスの本数が少ない。
- ・川越線の本数の少なさ。
- ・東武と西武の駅が合体していない。本川越駅と川越市駅の反対改札口の増設。
- ・自家用車が多い。
- ・放置自転車がが多い（バス交通（本数・路線）が少ないため）。
- ・主要3駅 VS それ以外 駅前・駅構内の格差が大きい。
- ・循環バスの停留所と運航本数が少ない。
- ・医療機関や福祉施設等へ行くための交通機関が不足している。
- ・川越線の整備（本数・駅舎・駅前・複線化）。
- ・駅前の広場が狭い。
- ・シャトルバスが有効利用されていない。

- ・シャトルバスが利用しにくい。
- ・無人駅がある。
- ・中心部は交通の便が良いが少し離れると悪い。
- ・中心地以外の場所は交通の便が悪いところも多い。
(市営バス等もでているが数が足りない)。
- ・お年寄りにはバスの料金が安いですが一般の方は料金が割高になる。
- ・公共施設に行き辛い。(オアシスなど)
- ・シャトルバスの運行。
- ・コミュニティバスがほしい。

○公共下水道等の整備 (3-3-3)

- ・浄化槽の排水で環境が悪い(夏は蚊がすごい)。
- ・下水道がにおう。(川越駅東口)
- ・調整区域で下水道が未整備。

○水辺と森林の整備 (3-3-4)

- ・新河岸川の河川敷が有効に使われていない。(公園や観光施設)
- ・新河岸川等河川敷利用のための整備が必要。

○公園の整備と充実 (3-3-5)

- ・公園が少ない。森林公園のようなものがない。
- ・公園が少ない、狭い(子供の遊び場が少ない)。
- ・子どもが遊べる公園が増えるとありがたい。
- ・伊佐沼の駐車場の表示があいまい。

○その他

- ・新河岸駅の自殺が多い。
- ・川越に外国人が多い。

●産業・観光

○地域振興拠点の整備と新しい産業の育成 (4-1-1)

- ・ブランド力が弱い(昔は米が有名だった)。
- ・川越ブランド(いも)お酒、料理などを、世界。
- ・川越独自のグルメがない。

○雇用の促進と労働環境の改善 (4-1-2)

- ・働くところが少ない。
- ・若い人が働く場所を増やす。
- ・若者の働く場の確保。

○農業の振興 (4-1-3)

- ・農業の後継者がいない。
- ・農業は盛んであるが、売る場所。

- ・相続税対策などで、農地の宅地化（アパート建設）が進んでいる。（大東地区）
- ・付加価値のある農業生産物。
- ・川越いも以外の名物を増やす（織物、野菜）。
- ・衣食住の地産地消。

○商業の振興（4-1-4）

- ・クリアモールには人が多いが、丸広などに人は入っていない。お金を落とさない。
- ・お店がころころ変わる。商業ビルを建てないと若い人が来ない。
- ・夜まで店が開いていない。健全な夜のまちをつくる。
- ・商店街の一部がシャッター商店街になっている。
- ・交通の便がいいため、買い物等、東京へ人が流れている。
- ・古い店の質の向上。
- ・行きたいと思う店が少ない。（テレビなどで紹介された店だけ人が集まる）
- ・クリアモールの家賃が高く、新規参入がしづらい。
- ・自然が減ってきている商店街に空き店舗が多い。
- ・商店街がさびれていて、商店街の体をなしていない。（南大塚）

○工業の振興（4-1-5）

- ・先端企業が少ない（ロボット、環境等）

○新たな観光事業の推進（4-2-1）

- ・観光を推しているのにも関わらず道が悪い。自転車道・歩車分離（狭隘、一方通行）。
- ・ユビキタスになっていない（外国語の案内…）。
- ・観光の目玉がない。
- ・伊佐沼を活かせていない。
- ・観光を担う人材が少ない。
- ・観光客の滞在時間が増えるような施策が必要、宿泊施設が少なく、高い。
- ・観光パンフレットなどわかりにくい。
- ・近くに新鮮な野菜を買えるところがない。（観光客相手）
- ・観光客に喜んでもらえる店、もの、休憩所（おもてなし）。
- ・観光客向けの中心市街地への交通手段が少ない。
- ・川越まつりをみんなで盛り上げるというより、商売優先になって、参加する人、しない人がはっきりしている。
- ・観光客が意外にお金を落とさない。
- ・川越独自のおみやげ品がない。
- ・ゆるキャラのインパクト不足。
- ・観光地の中心に廃虚のような建物がある。
- ・混雑の問題への対応（駅・まつりでの混雑、蔵造りの町並みの混雑）。

- ・川越ブランドの認知向上・観光客増加のためのPR。
- ・いいものがあるのにアピールできていないので、PRが必要である。
- ・七福神めぐりの小さい神社の対応
- ・川越に来る人のリピート率はメディアだのみになっている。
- ・観光ボランティアバンクの設立や、外国語をしゃべれる人の育成。
- ・観光産業の拡大。
- ・警察の取り締まりが多いため、観光地としてどうかと思う。
- ・観光PRが弱い。
- ・インフォメーションセンターがわかりづらい。
- ・PRが少ない。
- ・情報の発信先がずれている（外国人むけ）。

○観光環境の整備（4-2-2）

- ・駐車場が少ない、高い、場所がわからない。
- ・駐輪場が少ない。
- ・観光地として歩行者への配慮。
- ・道がせまい、駐車場不足。
- ・観光客による渋滞。
- ・交通網の充実。
- ・特に土日の渋滞が多い。
- ・トイレが少ない。
- ・川越駅で降りる人たちに対する案内が弱い。（一番街が遠くてわかりづらい）
- ・案内板や交通案内が不十分。（菓子屋横丁の案内など充実するべき）
- ・観光施設への交通が不便。
- ・カードの使用できるところがまだまだ少ない。
- ・表示が少ない（多国語）。
- ・中心部（一番街、クレアモール）は発展しているが、他への恩恵が少ない。

○その他

- ・東上線の事故。
- ・若い人が増えてほしい。
- ・少子化対策（少子化対策・公園）。
- ・若者が東京へ出て帰ってこない。

●環境

○ごみの減量化、資源化（5-2-2）

- ・ごみは、缶と瓶などを一緒に出すことに抵抗がある。
- ・ごみは、子供のころから分別等の教育を推進する。大人になれば、分別は苦ではない。
- ・各国の言葉でごみ分別等の案内を多く掲示する。

- ・ごみを有料化すれば、どうなるか。
- ・ごみを一部有料化してはどうか。
- ・ごみ収集所を区分けして、分別を啓発する工夫。

○廃棄物の適正処理（5-2-3）

- ・野焼きで周辺住宅に迷惑がかかるようになってきた。

○自然環境の保全（5-3-1）

- ・宅地開発により農地や雑木林が減った。
- ・緑、農地の保全、拡大。
- ・田園地帯は、整っていない。
- ・緑地が減ってきて住宅地化している（調整区域）。

●地域社会と市民生活

○地域コミュニティ活動の推進（6-1-1）

- ・交流の場の充実。安心して集まれる場所。
- ・高齢者と若者の接点。
- ・地域で集う場所がない（高齢者にとって）。
- ・祭り等の活動に参加する情報を得る機会。
- ・自治会加入率の低下。
- ・（地域で）一人暮らしのお年寄りの周知。
- ・古い人と新しい人の間で問題がある。薄れている。
- ・子供が少ない地域では、大人同士のあいさつが少ない。
- ・地域間のつながりにギャップがある。（お祭り、歴史、災害ボランティアなど）。
- ・子供が少ないため、親同志が最低限の付き合い。
- ・連絡網、名簿等の個人情報開示の範囲。
- ・（コミュニティとしての）商店街がどんどん閉まってきている（霞が関北）。
- ・閉鎖的の社会の打破（世代交代、伝統が邪魔をしている？）。
- ・保守的な雰囲気。昔からの住人と新しく川越に来た人との調和ができるように。
- ・外から居住してくるとよそ者扱いされることが多い。中に入っていけない。
- ・若者の活躍する場を増やす。（入ってこられない）

○男女共同参画社会の実現（6-1-3）

- ・共働きをしやすい制度や設備の充実が必要。
- ・働きながら子育てをする環境が整っていない。
- ・男女参画といっても子供を預ける場所が少ない。

○青少年健全育成の推進（6-1-4）

- ・少年犯罪を見かけたときの対処方法がわからない。

○防災体制の整備（6-2-1）

- ・災害時の逃げ場所等の話し合いの場が地域では少ない。
- ・火災の際サイレンが聞こえない。
- ・自然災害に対する意識の低さ（安全であるが故）。

○防犯対策の推進（6-2-3）

- ・犯罪の増加→行政の対応が遅い。
- ・警察官が少ない（交番の役目をなしてない）。
- ・街灯が少ない。
- ・街灯が少ないところが多いと感じる（地域差がある）。
- ・インターネットを利用できない方への防犯等の周知方法。
- ・歩きたばこ、迷い人への対応。
- ・不審者対策が行き過ぎ。（地域の連携が必要では）
- ・空き家が年々増加している（シャッター商店街）。
- ・クリアモールの風紀が悪い。
- ・空き家対策（活用対策）。
- ・空き家対策。

○交通安全対策の推進（6-2-4）

- ・交通事故多い
- ・交通ルールの間違った解釈。無知。モラルの無さ。
- ・スピードを出せないような環境、インフラ作り。
- ・交通安全講習に参加してもらえるような工夫。
- ・自転車のマナーの悪さ（親子で間違った運転法）。
- ・インフラの整備（手押し式信号、歩道をふさぐ歩道橋）。
- ・歩きづらい（道が狭い。自転車や車が危ない。マナー、ルールの徹底）。
⇒高齢者や子育て中の方々が安心して歩ける歩道。
- ・放置自転車（駐輪場が少ない）が多い、ごみ散乱、店の看板等が邪魔で歩きづらい。



グループでの話し合いの様子

(5) 実現方策に係る言葉 一力を入れるべき取組—

～川越が進むべき方向を考えたときに、具体的にどのような方策が必要かについて話し合った結果～

●共通

○市民参加と協働の推進 (0-1-1)

- ・ 広報紙、インターネット、自治会掲示板、放送、(母子手帳のような) 全世代向け手帳、DM、電話など。
- ・ 広報紙等のタイトルをシンプルに分かりやすくする。
- ・ 年齢層に合うPR媒体の多様化 (入手方法)。
- ・ 市民の声を拾う機会の拡大 (広報誌に返信用はがき、意見箱)。
- ・ 市職員自ら外に出て行く。
- ・ 市民の力を活用。
- ・ 情報発信の活性化。(「川越情報ステーション」、FM川越など)
- ・ 市民の声を上手に聞く機会を作る (母子手帳交付等)。

○新たな行財政運営システムの構築 (0-2-1)

- ・ こうしたマネジメントを行っていけば、すべてがうまく回っていく。
- ・ たとえば、朝夕を民間が使い、昼は、行政が使うなど時間帯での使い分け。
- ・ 市役所の攻めの姿勢。
- ・ 職員のホスピタリティの向上。
- ・ PDCA サイクル (市政と市民で行う)
- ・ 魅力的な都市プランナーの登用。

○効率的な社会資本整備の推進 (0-2-2)

- ・ 遊ばせている市有地の整理。
- ・ 行政施設の集約。
- ・ 箱もの行政を進めるのではなく、空き家を借り上げるなど、低予算で実施できる事業を。
- ・ 公共施設の活用。
- ・ 施設の充実、職員の待遇。

○財源の確保 (0-2-3)

- ・ 財源の確保。
- ・ 高額所得者から税をとる。

●保健・医療・福祉

○児童福祉の推進 (1-1-1)

- ・ 子育て世代への支援
- ・ 駅ビルに保育園 (送迎バスで)、病院を整備。
- ・ 保育園の増設 (空き家利用、シニアの活用)。

- ・ 保育施設を増やす、保育士の育成、待遇改善。
- ・ 若い世代を呼び込む（保育所やふれあいの場をふやす）。

○高齢者福祉の推進（1-1-2）

- ・ 老人ホームについて、今ある施設を活用する。
- ・ 運動公園・病院などの近くに障害者・高齢者用施設を併設する。
- ・ 高齢者の仕事場を増やす。

○地域福祉の推進（1-1-4）

- ・ コミュニティカフェ（大人の学童）。
- ・ たまり場（運動、お茶、おしゃべり、こどもに勉強を教える）。
- ・ 地域、市民ボランティアの活用。

○健康づくりの推進（1-2-1）

- ・ 健康的食品。
- ・ 健康づくりのためのお散歩マップをつくる。
- ・ 市民自身が定期検診を受けたり、散歩等の運動の習慣を意識する等、健康づくりに取り組む。
- ・ ポイントカード（教室参加や健診受診などでポイント加算）。

○保健衛生・医療体制の充実（1-2-2）

- ・ 大きな病院の建設（働く人の増加、安心して病院に行ける）。

○保健・医療・福祉の連携（1-3-1）

- ・ 医療機関や介護施設等、市役所の間での情報共有を図る。

●教育・文化・スポーツ

○生涯学習環境の整備・充実（2-1-1）

- ・ 生涯学習、スポーツ活動の情報をわかりやすく探せる場所の設置。
- ・ 図書館の充実（移動式図書館の復活、本の返却ポストを駅などにつくる。）
- ・ 人が集える場所の確保＋リーダー選出。
- ・ 公民館をもっと活用する。近くて安くて利用しやすい。アンキンタン。
- ・ 文教都市を目指すのであれば、児童館・図書館を整備する（複合施設化）。
- ・ 昼間公民館が使われていないのであれば、そこを図書館利用するなどの仕組みづくりを行政が行うべき。

○生涯にわたる学習活動の推進（2-1-2）

- ・ 公民館等やウエスタ川越を積極的に活用し、誰もが行きたいと思える魅力的な講座やイベントを実施してほしい。
- ・ 公民館などで様々なレベルの人にあわせたイベントをつくる。
- ・ 地域の中に学びの場をつくる。（コミュニティ・スクールなど）
- ・ 講座や学びの場を増やす。（生涯学習）
⇒趣味や生きがいを見つける。

○豊かな人間性をはぐくむ教育の推進（2-2-1）

- ・未来を生きる子供たちのため、大人自身の意識改革を行い、子供たちに真剣に向き合うことが大切である。

○教育環境の整備・充実（2-2-2）

- ・人口減少、少子高齢化社会を迎える中、学校施設等を中心として、児童・生徒・親・高齢者世代が交流できるようにする。
- ・使える場所（空き教室など）を有効活用する。

○芸術文化活動の充実（2-3-1）

- ・文化資源、文化施設の周知方法の再検討。（世代別で個々に検討、HPやSNS等魅力あるコンテンツを発信する）
- ・技術、文化の伝承の場を設ける。

○生涯スポーツの推進（2-5-1）

- ・技術的（スポーツの能力がある人）を集めるにはどうしたらよいか。⇒市からの協力をお願いします。

○その他

- ・個々の場所との連絡。

●都市基盤・生活基盤

○道路交通体系の整備（3-2-1）

- ・歩道を広くする、自転車通行帯を整備する。
- ・道路幅を広げる。
- ・道路の改良（自転車道、歩道、交差点）
- ・道路の歩車分離帯を実現する。（霞ヶ関駅南口付近の川越越生線）
 - ・一番街を土日は歩行者天国にする。
 - ・パークアンドライド⇒市街地の混雑を緩和する。
 - ・駅前と交通結節点（乗継）の改良。

○交通円滑化方策の推進（3-2-2）

- ・自転車のまま、バスや電車に乗れるようにする。
- ・便利な交通網（パーク&ライド、デマンド交通、シャトルバスの見直し）。

○公共交通機関の充実（3-2-3）

- ・鉄道会社との協力によるまちづくりをすすめる。
- ・本川越駅と川越駅のためのシャトルバスを走らす。
- ・バスは、もっと小さいバスをこまめに走らせるなど工夫すればよい。
- ・各機関をつなぐバス。
- ・観光客と現地の人の目的を合わせた交通手段（シャトルバスの路線変更、乗り合いタクシーなど）。
- ・交通セミナーのセミナーを開催する。（レンタサイクル）

- ・高齢化していくのであれば、車を手放し、公共利用していくのが自然の流れ。

○公共下水道等の整備（3-3-3）

- ・下水道の整備。
- ・上下水道、都市ガスの整備（100%普及を目指す）。

○公園の整備と充実（3-3-5）

- ・既存の公園をもっと利用してもらうようインターネットでPRする。
- ・都市公園、遊び場の整備。
- ・中規模公園の新設（広域避難場所）。
- ・都内では、かまどつきベンチを公園で使っている。

○その他

- ・市民の自助、共助（参画）。
- ・お金がないからハードをソフトで補うことを考えていきたい。

●産業・観光

○地域振興拠点の整備と新しい産業の育成（4-1-1）

- ・学と連携したブランド発信強化。
- ・さつまいもスイーツコンテスト開催（定期的）。
- ・いも焼酎などの川越ブランド。
- ・途切れてしまったブランドの再興。
- ・ブランドの宣伝が必要。

○雇用の促進と労働環境の改善（4-1-2）

- ・仕事・雇用の創出。

○農業の振興（4-1-3）

- ・オーナー制農業やオーナー制商業の導入。
- ・いもほり体験など東京などにPRする。
- ・農産物のブランド化。
- ・農地の活用。
- ・川越いも以外にもっと有名な川越ブランドをつくる。

○商業の振興（4-1-4）

- ・川越だけのB級グルメ大会を開催する。
- ・川越唐棧を復活させる。
- ・シンボルとなる商業施設の設置。
- ・空き店舗に小規模商店の誘致。
- ・タウン誌を作成する（1か月に一度くらい）。
- ・街コン開催。
- ・空き店舗を活性化させる。
- ・大型ショッピングモールをつくる。

○工業の振興（4-1-5）

- ・食品加工業企業の誘致。

○新たな観光事業の推進（4-2-1）

- ・学と連携した各種ツーリズムの創出。
 - ・TVの力を利用する。
 - ・テーマソングによるPR活動
 - ・来訪者参加型の祭り（伝統継承）。
 - ・駅に十分な観光案内（特に外国人に対して）。
 - ・山田大輔さんの曲で「秋の川越」という曲があるので、いたるところで流して活用する。
 - ・外国人留学生に聞き、外国人観光客誘致に役立てる。
 - ・宿泊する観光化を進める。
 - ・フィルムコミッションを活性化する。
 - ・学生と協力。
 - ・地域アイドルの導入。
 - ・若年層（高校生・大学生）の川越ファンを作る。
 - ・女子力の活用。
 - ・ボランティアの活用。
 - ・PRをもっとうまく行う。
 - ・残っている文化（琴・三味線）をアピールする。
 - ・シニアボランティアの活用。
 - ・おもてなしを行うスタッフの養成。
 - ・川越と関連のある映画、小説、マンガなどのコンテンツや、その作者の活用。
 - ・新キャラクターの創設。
 - ・特産品のアピール。
 - ・魅力ある観光地になる。
 - ・川越をアピールするアンテナショップの駅前の設置。
 - ・川越をアピールする活動を広範囲で行う。
 - ・イベントセミナーの情報を様々な媒体で開示。
 - ・地元以外の者も自由に参加できる川越祭りに。
 - ・宿泊施設を併設した名所・施設をつくり、宿泊者を増やす。
 - ・ラジオ体操、祭り等のイベントに参加できるよう、イベントの企画、周知。
 - ・イベントデーの設置。
- （歴史とのコラボ企画）
（観光客には川越に来た意味を持たせる）
（住民にはこういうまちという充足感）

○観光環境の整備（4-2-2）

- ・まつり会館等の内容を何度も来たくなるようにもっと面白く。また、まつり会館は駅から歩いてくるとちょうど休憩にいい場所である。
- ・観光地としての交通の整備。
- ・交通インフラ、川越駅・本川越駅の観光地までのLRT。
- ・主要な観光地等をバスが通るような工夫。
- ・情報インフラをさらに充実。
- ・街中の無線LAN環境設備。
- ・多国語対応の観光案内。
- ・市内案内の分かりやすいパンフを作成。
- ・現存施設に工夫・追加を。
- ・観光客が観光しやすいまちづくり。

○その他

- ・高齢者と幼児の触れ合える施設（公民館などあいているところを活用する。）

●環境

○計画的な環境事業の推進（5-1-1）

- ・戸建て住宅の緑地率を上げる（条例等で決める）。

○自然環境の保全（5-3-1）

- ・新河岸川に桜。
- ・既存の雑木林、伊佐沼、新河岸川の有効活用。
- ・緑や土の場所を増やす。

●地域社会と市民生活

○地域コミュニティ活動の推進（6-1-1）

- ・まつりを通してコミュニティの交流を深める。
- ・また、他地区のとのつながりを深めていく→災害時にも地区どうしの助け合い。
- ・人を育てる。（年配者から若者へ継承、歩み寄り、対話）
- ・元からの住民と新しい住民のふれあいの場をつくる。
- ・中心市街地と地域のつながり。
- ・お年寄りの自立。（健康スポーツや交流活動）
- ・シルバー人材以外のキャリアなどの活用を利用。
- ・自治会の区分けを見直し。
- ・年齢格差をなくす。（例：自治会活動は年齢で参加させる）
⇒年代別の様々な意見が出し合える。

○防災体制の整備（6-2-1）

- ・地域別のハザードマップ。

- ・消防団・水防団が活躍しやすい体制。
- ・災害時の避難場所の案内（市民だけでなく観光客等に向けて）。

○防犯対策の推進（6-2-3）

- ・街灯を増やす。
- ・自治会、PTAなどの団体によって街の総点検をする。
（地区内の夜の道を歩いてみて、防犯灯の設置を検討する）
- ・空き家、空き店舗の有効活用。

○交通安全対策の推進（6-2-4）

- ・インフラの整備（スピード原則できるような物理的対処、障害物）。
交通ルール・マナーの徹底、教育。

○その他

- ・責任を持つ。
- ・開放的な街づくり。
- ・地域と中心市街地の連携。
- ・気軽に参加しやすいイベント。
- ・生きがいのもてる場所を増やす。



発表の様子（話し合い、模造紙に書かれた内容を発表している。）

4 参考資料

(1) 会議の方法（プラーヌクスツェレの準用）

川越みらい会議で行った、無作為による抽出で参加者を募る方法は、参加者の多くが特定の集団の構成員や専門家ではなく、公募よりも幅広い市民層の参加が期待できると考えられている。

近年、新たな市民参加手法として他の自治体でも導入事例のある手法がドイツで考案されたプラーヌクスツェレで、対象市民を無作為により抽出することや、参加者へ謝礼を渡すなどの特徴がある。

川越市では、第三次川越市総合計画策定時において、平成16年度に「かわごえ市民会議」を開催しているが、この時は自薦、他薦（団体、10名以上の推薦を受けた者）による選出であった。

〈プラーヌクスツェレ〉

1970年代初めにドイツで考案した市民参加手法で、無作為に抽出された25名の市民が5名の小グループ（=セル）に分かれて討議する。

◎主な特徴

- ・無作為に抽出された候補者に対し、主催者が招待状を送付し参加を要請する。
- ・25名を5名の小グループに分けて討議し、全ての小グループが同じテーマを討議する。
- ・セッションごとに小グループのメンバーを入れ替える。
- ・参加者には討議参加への報償を支払う。これにより参加者には責任をもって取り組むことが求められる。

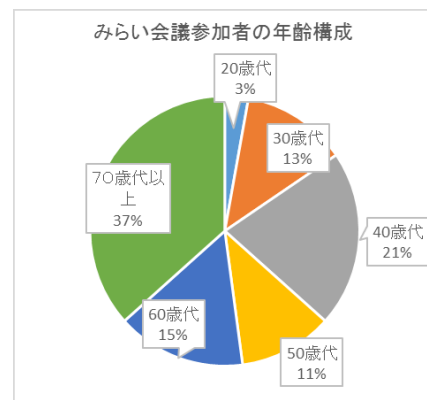
(2) 各回の人数及び属性

3,000名に参加を募り、75名の市民から参加の申し出があった。その後キャンセルが4名あり、参加者人数は71名（延べ人数173名）である。

実施日	参加人数	テーマ
9月6日（土）	31名	保健・医療・福祉
9月7日（日）	27名	教育・文化・スポーツ
9月13日（土）	30名	都市基盤・生活基盤・環境
9月14日（日）	29名	産業・観光
9月20日（土）	27名	地域社会と市民生活
9月21日（日）	29名	どんな川越であれば住みたいか（エンディング）
合計（延べ人数）	173名	—

【参加者内訳】

	男性	女性	合計
20代	1名	1名	2名
30代	5名	4名	9名
40代	7名	8名	15名
50代	2名	6名	8名
60代	6名	5名	11名
70代以上	15名	11名	26名
合計	36名	35名	71名



【参加日数】

1日参加	9名
2日参加	10名
3日参加	52名



振り返りの様子（参加者全員が一言意見・感想を述べている。）

第3 各カテゴリー別意見聴取 報告

次期川越市総合計画策定におけるカテゴリー別意見聴取実施要領

1 目的

次期川越市総合計画の策定にあたり、市民の意見を計画に反映するために実施を予定する市民満足度調査、無作為抽出による市民討議等を補完するため、カテゴリー別の意見聴取を実施することにより、多様な意見及びニーズを的確に把握し、もって次期川越市総合計画の策定に資することを目的とする。

2 主な対象者

市民満足度調査、無作為抽出による市民討議等では、意見及びニーズを十分に把握することが困難な在勤・在学者、大学生などの若者、女性、在住外国人等を主な対象者とする。

3 意見聴取の取組

次の各号に掲げる主な対象者の区分に応じ、当該各号に定める取組を実施するものとする。なお、必要に応じて意見聴取の取組を追加することができる。

- (1) 高校生などの若い世代や在勤者・在学者（仮称）まちかどインタビュー
- (2) 20歳代から40歳代までの女性（仮称）ウーマンカフェ
- (3) 市内大学に通う学生（仮称）大学生インタビュー
- (4) 在住外国人（仮称）外国人インタビュー

4 取組の実施

政策財政部政策企画課の事務事業として前項の取組を実施するものとし、必要に応じて、次期川越市総合計画策定に係る職員ワーキングチーム「チャレンジ未来100」、関係部署等に協力を依頼するものとする。

5 その他

前各項に定めるもののほか、次期川越市総合計画策定におけるカテゴリー別意見聴取に関し必要な事項は、別に定める。

1 まちかどインタビュー

1 まちかどインタビューの結果

目的：高校生などの若い世代や在勤・在学者の意見を幅広く聞き出すことにより、多様な意見及びニーズを把握する。

- ① 力を入れるべき取組について、「子育て」、「高齢者福祉」、「スポーツ」、「道路」、「交通」、「商業」、「観光」などについての意見が多く出されたこと。
- ② 安心して子育てができること、高齢者にやさしいまちであること、道路や交通、商店街などの都市としての機能が整備されていること、スポーツができること、観光環境を整備することが求められていること。
- ③ 個別施策の参考意見
 - ・ 駅など使いやすいうちに保育施設があるとよい
→ 児童福祉の推進
 - ・ 仕事が見つかって、地元で働いて女性も働きやすい
 - ・ 働く場所があれば住む人も増える
 - ・ 女性が働き続けることができる環境づくり
→ 雇用の促進と労働環境の改善、産業の育成
 - ・ 若者を引き付ける文化、ライブ等を行える場所
→ 芸術文化活動の充実
 - ・ ネットやツイッターなどを使って生涯学習の情報を発信してほしい
 - ・ 特徴を生かした更なる観光PR
→ SNSなどを活用した、広報対象を意識した情報発信機会の増加と充実
 - ・ 一番街の観光客のための歩道整備
 - ・ コミュニティバス路線、バス網の充実
→ 効果的な交通円滑化方策による市内の渋滞緩和対策
 - ・ クレアモールのキャッチを何とかしてほしい
→ 防犯対策の推進
 - ・ 新しい住民が参加できる場所を作ったほうがいい
→ 地域コミュニティ活動の推進

〈将来都市像〉（同様の意見をまとめて掲載）

- ・ 医療の充実したまち
- ・ 年齢を問わず住みやすいまち
- ・ いきいき暮らせるまち

- ・安心して子育てできるまち
- ・子どもが楽しく安全に暮らせるまち
- ・教育が充実したまち
- ・伝統文化を大切にするまち
- ・心にゆとりがあるまち
- ・都市基盤が整っているまち
- ・美しい景観のまち
- ・公園がたくさんあるまち
- ・商店街が活気のあるまち
- ・観光拠点のまち
- ・女性が働きやすいまち
- ・中心部だけでなく地域を生かすまち
- ・清潔感のあるまち
- ・緑が豊かなまち
- ・人間と自然が共生するまち
- ・安心して暮らせるまち
- ・地域のつながりがあるまち

〈力を入れるべき取組〉（多く意見が出された施策）

- ・児童福祉の推進（1-1-1）
- ・高齢者福祉の推進（1-1-2）
- ・生涯スポーツの推進（2-5-1）
- ・道路交通体系の整備（3-2-1）
- ・公共交通機関の充実（3-2-3）
- ・商業の振興（4-1-4）
- ・観光環境の整備（4-2-2）
- ・ごみの減量化、資源化（5-2-2）

2 総合計画の体系別にした市民等の言葉

(1) 将来都市像に係る言葉

●共通

- ・新しいことに絶えずチャレンジするまち
- ・持続可能な都市

●保健・医療・福祉

- ・福祉が充実したまち
- ・健康のケアをしてくれるまち
- ・医療の充実したまち
- ・保障されたまち
- ・年齢を問わず住みやすいまち
- ・高齢者にやさしくするまち
- ・いきいき暮らせるまち
- ・高齢者が運動できるまち
- ・みんなが不自由しないまち
- ・安心な老後が暮らせるまち
- ・笑顔あふれるまち
- ・お母さんにやさしいまち
- ・安心して子育てできるまち
- ・子育て支援が充実しているまち
- ・子育て環境のよいまち
- ・子どもが楽しく安全に暮らせるまち
- ・家族が温かく、子どもいっぱい
のまち
- ・子どもと安心して住めるまち
- ・子どもが遊べるまち

●教育・文化・スポーツ

- ・教育に熱心なまち
- ・勉強熱心なまち
- ・教育が充実したまち
- ・伝統文化を大切に
するまち
- ・温故知新のまち
- ・歴史を生かすまち
- ・芸術に力を入れるまち
- ・心にゆとりがあるまち
- ・明るく平和なまち
- ・図書館が充実しているまち
- ・スポーツが盛んなまち
- ・文化財が豊富なまち
- ・歴史や文化を残したまち

●都市基盤・生活基盤

- ・都市基盤が整っているまち
- ・道路がいいまち
- ・整備が行き届いたまち
- ・都会のようなまち
- ・機能的なまち
- ・発展しすぎないまち
- ・バリアフリーのまち
- ・渋滞のないまち
- ・自動車の必要のないまち
- ・交通の便がいいまち
- ・電車がたくさんあるまち
- ・通勤・通学に便利なまち
- ・美しい景観のまち
- ・施設が充実して住みやすいまち
- ・商業施設が充実しているまち
- ・静かなまち
- ・公園が沢山あるまち
- ・安心して歩けるまち

●産業・観光

- ・昔ながらの雰囲気をつぶさないまち
- ・風情のあるまち
- ・魅力のあるまち
- ・活気のあるまち
- ・商店街が活気のあるまち
- ・お店がいっぱいあるまち
- ・食べる場所がいっぱいあるまち
- ・古い街並と近代が融合するまち
- ・観光拠点のまち
- ・観光客が満足するまち
- ・住める観光地のまち
- ・物づくり、ひとつづくりのまち
- ・にぎやかなまち
- ・小江戸を感じさせるまち
- ・何度行っても楽しいまち
- ・お芋がおいしいまち
- ・経済的に貧しい人にやさしいまち
- ・伝統のまち
- ・農業と企業が融合するまち
- ・和があるまち
- ・まつりがあるまち
- ・経済性のあるまち
- ・買い物ができるまち
- ・起業しやすいまち
- ・雇用のあるまち
- ・いくつになっても働けるまち
- ・働く女性にやさしいまち
- ・女性が働きやすいまち
- ・海外から観光客が来たくくなるような昔ながらのまち
- ・人に自慢できるまち
- ・特色のあるまち
- ・住んで良かったと思えるまち
- ・いつでも帰りたいまち
- ・中心部だけでなく地域を生かすまち
- ・観光地以外にも盛り上がるまち

●環境

- ・空気がいいまち
- ・清潔感のあるまち
- ・緑が豊かなまち
- ・衛生面のしっかりとしたまち
- ・人間と自然が共生するまち
- ・ごみがないまち
- ・美しく住みやすいまち
- ・缶を減らすまち
- ・安全で自然と調和したまち
- ・環境にやさしいまち

●地域社会と市民生活

- ・安全なまち
- ・安心して暮らせるまち
- ・治安のいいまち
- ・犯罪がないまち
- ・ふれあいのまち
- ・交通事故のないまち
- ・災害に強いまち
- ・夜安心して歩けるまち
- ・人が親切なまち
- ・仲良しなまち
- ・平等なまち
- ・みんなが集まるまち
- ・挨拶が交わせるまち
- ・思いやりのあるまち

- ・老若男女にやさしいまち
- ・周りの人と協力し合えるまち
- ・誰でも気軽に住めるまち
- ・いろいろな人を受け入れられるまち
- ・消費者にやさしいまち
- ・地域のつながりがあるまち
- ・コミュニティのあるまち
- ・人と人がつながるまち
- ・横と縦のつながりを大切にするまち
- ・わきあいあいなまち

●その他

- ・誰かに自慢できるまち
- ・ブランド力が高いまち
- ・大好きなまち
- ・私のまち
- ・開かれたまち
- ・居心地のよいまち
- ・落ち着くまち
- ・画期的なまち
- ・若い人が集まるまち
- ・若々しいまち

(2) 実現方策に係る言葉

●共通

○市民参加と協働の推進 (0-1-1)

- ・市民との双方向の対話
- ・情報提供の充実、情報発信をまめに行うことが必要

○新たな行財政運営システムの構築 (0-2-1)

- ・市役所の窓口が混雑

○効率的な社会資本整備の推進 (0-2-2)

- ・施設の充実

●保健・医療・福祉

○児童福祉の推進 (1-1-1)

- ・新しい子供たちのためにいろんなことができること
- ・育休制度
- ・お母さんとお子さんの遊べる場所がいっぱいほしい
- ・駅など使いやすいところに保育施設があるとよい
- ・学童、保育園の充実
- ・学童や保護者の関わりあいが多すぎると聞く
- ・高校生までの医療費の無償化
- ・待機児童対策の推進

- ・待機児童の解消
- ・待機児童を減らす
- ・高齢者も大切だが子供を産みやすい環境、支援をしてほしい
- ・子育て、障害者支援に力を入れてほしい
- ・子育て、待機児童対策
- ・子育て支援が多いとよい
- ・子育て支援の充実
- ・こども医療の充実、保育園・幼稚園の充実
- ・こども医療費の高校生までの拡大
- ・こどもをあずける場所が少ない
- ・子どもを快く受け入れることのできる雰囲気のみちになって欲しい
- ・子どもをつくるには保育園が重要
- ・子どもを増やす政策
- ・助産師を増やす
- ・ダウン症等の障害児童福祉施設の充実
- ・小さい子どもが遊べる遊具
- ・小さい子供に必要な政策
- ・児童手当の増額
- ・児童福祉
- ・就学費補助の充実
- ・障害児の就職あっせん施設の充実
- ・少子化対策、子育て支援の充実
- ・少子化なので予防接種、ワクチンに助成してほしい
- ・少子高齢化対策をさらに充実させてほしい
- ・シングル・マザーが多いので、支え合えるように
- ・保育園・幼稚園の教育が大事
- ・保育園がもっと多いとよい
- ・保育園関係が足りていない
- ・保育園の充実
- ・保育園の増設
- ・保育施設の充実
- ・保育施設の増設
- ・保育所がきれいであるとよい
- ・子育て支援
- ・病児保育施設の充実。予防医療の充実・強化
- ・共働きの女性が残業なしなど、子育てしやすい体制

- ・ 病児保育施設がほしい
- ・ もっと子育てに力を入れて子育てしやすい川越にしてほしい
- ・ 学童保育の充実。軽度の発達障害児童等へのサポート

○高齢者福祉の推進（1-1-2）

- ・ お年寄りを大切にしたい。病院・医療の充実
- ・ 親の介護が心配
- ・ 介護施設を増やしてほしい
- ・ 介護入所施設の充実、介護の担い手の充実
- ・ 介護の充実
- ・ 介護分野の人手不足解消
- ・ 高齢化社会への適切な対応
- ・ 高齢者が外出しやすくいきいきと生活できるような施策
- ・ 高齢者がコミュニケーションをとれる場がほしい
- ・ 高齢者が孤立しないための集える場所があるとよい
- ・ 高齢者が生活しやすくなるための交通網整備
- ・ 高齢者が利用しやすい施設の整備
- ・ 高齢者施設の増設
- ・ 高齢者になっても住み続けたいと思えるようにしてほしい
- ・ 高齢者にやさしく
- ・ 高齢者の生活環境が整ったまち
- ・ 高齢者福祉
- ・ 高齢者向けの医療の充実
- ・ 高齢者向けの交通機関の利用優遇
- ・ 高齢者向けの補助制度の充実
- ・ 高齢単身者の孤独死防止対策
- ・ 高齢になると心配になる
- ・ 在宅医療・介護の充実
- ・ 在宅医療の充実
- ・ 在宅介護センターの取組の充実とPR
- ・ 在宅介護の充実
- ・ バリアフリー化の推進
- ・ バリアフリー化を含めた道路整備
- ・ ソフト面での高齢者支援の充実
- ・ 祖母が福祉を受けているのでもう少し高齢者に対する援助を希望する
- ・ 名古屋のように高齢者のバスが無料ならよい

- ・老後を安心して暮らしたい
- ・老人が多いが出費が少なく少子化で税収が少ない。保育分野の充実
- ・老人ホームの増設
- ・老人ホームを駅の近くに持ってくる
- ・和光市の高齢者向けシステムを川越市でも
- ・デイサービスの充実
- ・年配者の方が住みやすいまち
- ・もう少し高齢者が住みやすくなって欲しい。自宅の近所に店がない
- ・介護福祉
- ・高齢者に優しいまち
- ・老人ホームの増設

○障害者福祉の推進（1-1-3）

- ・障害者が生活しやすい環境づくり
- ・障害者が身内にいるので、関係施設等充実してほしい
- ・障害者施設等への足がしっかり整っているとよい
- ・障害者福祉の充実
- ・障害者用施設が足りていない

○地域福祉の推進（1-1-4）

- ・福祉施設の充実

○健康づくりの推進（1-2-1）

- ・健康長寿の推進
- ・健康づくりの推進
- ・健康を維持するには自身の努力も必要。医療費の生活費に占める割合が生活を脅かさない程度になるように
- ・自分の健康づくり
- ・体力づくりのイベントの実施

○保健衛生・医療体制の充実（1-2-2）

- ・医者を選びやすくしてほしい
- ・医療、診療時間を短く
- ・医療機関の充実
- ・医療機関の情報の充実
- ・医療機関への交通手段の充実

- ・医療助成の充実
- ・医療費が高いので負担額を抑えてほしい
- ・医療費控除、病院の予約をネット化し混雑を緩和する
- ・医療費の補助
- ・医療予防の充実
- ・駅周辺に大規模病院の整備、高齢者の面会等がしやすい環境の整備
- ・かかりつけ医を持つよう推進
- ・こども・高齢者以外への医療費の手当
- ・病院が充実
- ・病院が都内に比べると技術水準が低い
- ・病院と施設の連携、高齢者への医療ケアの充実
- ・病院に通いやすい環境
- ・病院や夜間救急の受け皿を作ってほしい
- ・医療負担率を減らす
- ・保険料が高い
- ・地域密着型の病院がある
- ・総合医療案内
- ・身近な医療機関の充実
- ・自分が病気になっても安心
- ・大きい病院が多いとよい
- ・母が病院で忙しいので医療が増えるとよい
- ・まちなかで交通利便性があるところにデイサービス、病院を増やす
- ・夜間営業の病院を増やす
- ・予防接種の無料化、
- ・医療制度がしっかりしたまち

○保健・医療・福祉の連携（1-3-1）

- ・高齢者と子供の交流
- ・子育て中やひとり暮らしの高齢者などが文化施設にまずは足を運んでもらうようにすること

●教育・文化・スポーツ

○生涯学習環境の整備・充実（2-1-1）

- ・学習環境が快適である
- ・公民館等の施設を新しく、充実させる
- ・公民館の充実

- ・ ネットやツイッターなどを使って生涯学習の情報を発信してほしい
- ・ 駅前近くに図書館が欲しい
- ・ 大学や公共的な場所の増設
- ・ 図書館等、身近で勉強しやすい施設の増設
- ・ 図書館など学習する場の充実

○生涯にわたる学習活動の推進（2-1-2）

- ・ 誰でも気軽に学びたいことが学べる
- ・ 地域教育の充実
- ・ 知的文化のため本屋を増やす
- ・ 老人が先生になるなど、ノウハウを持った人が埋もれないよう引き出すことが必要
- ・ 子どもと大人など異なる世代で学び合う
- ・ 幅広く学ぶことが出来るよう場を提供する

○豊かな人間性をはぐくむ教育の推進（2-2-1）

- ・ 教育にゆとりがない。教員数の増員
- ・ 教育の内容、中高一貫校を作る
- ・ 学力調査に向けた教育の充実
- ・ 学力別授業の導入、体育（柔道・武道）を通じて体力、礼儀を身に付けられるように。
- ・ 学校の予算を増やしてほしい
- ・ 宿題が多い
- ・ 子どもたちを丁寧に教育する。教育の質、設備の充実
- ・ 川越市の子供たちをどのように育てていくのか、市としてきちんと考えてほしい
- ・ 子育て支援と学校教育に隔たりがないように相互協力が必要、子供（教育）にもっとお金を使うべき（経済力に関係なく）
- ・ 小中学校教育の充実
- ・ 小学校の教育が大事
- ・ 土曜学習を導入して子供のレベルを上げる
- ・ ネイティブの先生をもっと導入する
- ・ 文化祭の日程を学校間でずらして欲しい
- ・ モンスターペアレンツが多いと聞くので、子どもと地域のコミュニケーションが大切だと思う
- ・ ゆとり教育をやめよう

○教育環境の整備・充実（2-2-2）

- ・小中高教室に冷房機を導入
- ・学校がきれいで整備が整っていること
- ・小学校の増設
- ・勉強できる環境。学校以外でも自習室。
- ・学校にもっとお金を使う
- ・もっと近くに高校があるとよい

○芸術文化活動の充実（2-3-1）

- ・音楽スペースやイベントの充実
- ・川越市の特色である文化の推進
- ・芸術活動を発表する場がもっとあるとよい
- ・公共のホールがほしい
- ・金沢の21世紀美術館みたいないい感じの美術館
- ・美術館、博物館をもっとPR
- ・美術館が充実している
- ・市立美術館のPR
- ・若者を引き付ける文化、ライブ等を行える場所

○文化財の保存活用（2-3-2）

- ・伝統芸能に参加しやすい雰囲気づくり
- ・文化、歴史を大切に
- ・文化は後からつくれないので大切にしたい
- ・良い環境で伝統を保存する
- ・歴史をもっと知って欲しいので、文化と観光を大事にして欲しい。
- ・鎌倉のような歴史的なまちづくり
- ・文化財が有名
- ・文化財を次世代に残してほしい
- ・古い街並みの保存

○生涯スポーツの推進（2-5-1）

- ・運動ができる場所を増やす
- ・駅付近に体育館の整備
- ・駅付近に無料で利用できるジムのものがほしい
- ・オリンピックを機にスポーツしやすいまちづくり

- ・スポーツジム（駅周辺）
- ・スポーツ振興
- ・スポーツ大会を増やす
- ・スポーツできる環境の整備
- ・スポーツをやる場所が多いとよい
- ・体育館が気軽に使える、体育館が駅から近い
- ・体育館の増設
- ・川越市出身のスポーツ選手のPR
- ・サッカーに力を入れてほしい
- ・サッカーのプロを呼んでほしい
- ・ゴルフだけではないところを見せてほしい
- ・芝生のサッカー場の整備
- ・人工芝のサッカー場の整備
- ・スポーツイベントの充実
- ・スポーツ施設の整備
- ・スポーツ施設を充実
- ・テニスコート・弓道場の増設
- ・バスケットボール、ボクシングが盛ん
- ・バレーボール場の整備
- ・ピコア内卓球場を別で作ってほしい
- ・プロ野球チームと協働した取り組みなど
- ・運動施設充実、空調
- ・駅の近くに体育館の整備
- ・陸上の親善大会
- ・近場に安い運動場
- ・初雁球場の整備
- ・習い事、健康増進のためのスポーツ施設の整備
- ・マラソンにもっと力を入れる
- ・野球施設を使いやすくしてほしい

●都市基盤・生活基盤

○計画的なまちづくり（3-1-1）

- ・階段、エレベーターの整備。バリアフリー
- ・ユニバーサルデザインの推進
- ・マンションが多いので開発抑制を

○都市拠点の整備 (3-1-2)

- ・川越駅西口は改修工事後、自転車の通行等が不便になった。
- ・川越と本川越をつなぐ
- ・駅を統合
- ・お金をもっと使って駅周辺整備
- ・電線地中化の推進
- ・駅西口は市民、駅東口は観光のための設備とするなどの場所分けが必要
- ・西口は開発が進んでいるが、東口はごちゃごちゃで緑が少ない。歩道が広くなるといい
- ・クレアモール内の自転車走行が危ない
- ・本川越駅と川越駅間の連絡
- ・本川越の反対側入り口を早く作ってほしい

○地域生活拠点の整備 (3-1-3)

- ・南古谷駅北口の整備
- ・南古谷駅周辺の開発
- ・新河岸駅周辺は道が狭いので、上福岡駅周辺のように整備して欲しい
- ・新河岸地区も住みやすい環境にしてほしい、車道と歩道の区分がない、区画整理が進んでいない
- ・使いやすい駅に。コンコースが狭くて危ないので

○景観に配慮したまちづくり (3-1-4)

- ・景観を守る
- ・もっとカラフルなまちになって欲しい
- ・蔵づくりの町並み維持・発展
- ・都市景観の保全。交通の充実

○道路交通体系の整備 (3-2-1)

- ・16号が混雑しているので、車の通勤ができない
- ・一番街の歩行者対策
- ・歩きやすい歩道がある
- ・駅前なのに道路がガタガタ
- ・駅前の道が細く曲がり角が怖い
- ・車が多く、歩行者が危ない
- ・車と歩行者の距離がないガードレール等を設けるべき
- ・自転車が安全に走れるようにして欲しい

- ・川越市駅周辺の道路が危ないので広げてほしい
- ・観光地周辺の道路、交通を整備
- ・通学路を拡幅し、ゆったりとした街並みを形成してほしい
- ・工業団地と城西川越高校の間の道路の拡幅
- ・自転車道の整備
- ・施設のアクセス道路
- ・道が狭い割に白線がない
- ・市内の道路が狭く歩道が整備されていない
- ・車道は広いが通りに出るところが狭い
- ・喜多院の電線地中化よりも、川越市駅を再開発し、道路拡張。
- ・道路が入り組んでいるのでしっかり整備してもらいたい
- ・道路が狭い。事故予防対策
- ・道路の拡幅
- ・道路は広く、車道歩道分離
- ・人が集まっているが歩きづらい
- ・人通りが多い、交通に危険を感じる歩車道の整備
- ・時の鐘の通りをもっと広くする
- ・自転車が走りやすいように整備
- ・一番街の観光客のための歩道整備

○交通円滑化方策の推進（3-2-2）

- ・一方通行が多い
- ・色んな所に行ける。交通の便がよい
- ・駅周辺の交通渋滞
- ・一番街の一方通行化
- ・コミュニティ・サイクル等、交通の便が充実している
- ・バス通り（車）・観光客（歩行者）とのアンバランス。自転車を中に（活用）、車は控えめ（旧市街）
- ・蔵造りの町並みの歩行者対策
- ・大型バス、車、駐輪場が駐車しにくい。市外からの駐車がしたい
- ・自転車に乗っていて見通しが悪い
- ・週末の車の乗り入れ制限
- ・小江戸の街並みを歩行者天国に
- ・歩車道の分離
- ・歩道の整備
- ・散歩したくなるようなまち

○公共交通機関の充実（3-2-3）

- ・ J R川越線の増便・複線化
- ・ 交通量が多く排気ガスが多い
- ・ 交通利便性の向上
- ・ 交通の便、シャトルバスの案内の充実
- ・ バス運行
- ・ 駅から歩いて公共交通機関に行ける
- ・ 駅と駅間の距離が長い、バスの便数が少ない
- ・ 駅まで遠い人は自転車の通勤が不便
- ・ バス交通網が充実
- ・ バス停の数を増やす、バスの本数を増やす
- ・ 急行が止まらない
- ・ 川越駅から菓子屋横丁まですぐに行けるバスがほしい
- ・ 距離は近いはずだが、電車の乗継に時間がかかる
- ・ 公共交通は使う人が少ないため減っている
- ・ コミュニティバス路線、バス網の充実
- ・ 電車が止まった時もっとバスがあると便利
- ・ 電車の増便
- ・ 電車や自転車利用の促進
- ・ 生活する中で足が必要なので道路・交通手段が整っているとよい、バスが充実しているとよい、道路が整っているとよい
- ・ 一番街の交通量を減らす
- ・ ただで乗れるバスがあったら便利
- ・ バスや鉄道のアクセスをもっとよくしてほしい
- ・ 都心部へ行きやすい、バスが充実、道路が使いやすい
- ・ 足が弱くなったら駅と自宅近くを、ピストンバスを運営できるとよい
- ・ 人身事故が起きなければいい
- ・ 電車の本数が少ない
- ・ 有事のバス代替交通の充実

○水辺と森林の整備（3-3-4）

- ・ 宅地化により緑がなくなった
- ・ 川がもっときれいになればよい
- ・ 川の下流は危ない
- ・ 緑地が多い、水がきれい

- ・ブラックバスがいる川がよい

○公園の整備と充実（3-3-5）

- ・ボールで遊ぶところが増える
- ・公園が多いとよい
- ・公園の所在地の周知
- ・公園を充実させてほしい、森林公園のようなみんなが集える公園。
- ・子どもが遊べる公園の増設
- ・身近な公園の整備、地下水の保全
- ・身近な子どもの遊び場の充実
- ・緑、公園（帯広市みたいな）、長い椅子

○快適な住宅・住環境の整備（3-3-6）

- ・空き家対策
- ・住環境の改善
- ・低家賃住宅の充実

●産業・観光

○地域振興拠点の整備と新しい産業の育成（4-1-1）

- ・「スポッチャ」のような施設の整備
- ・安価で種類豊富な温泉施設が欲しい
- ・川越駅西口に映画館の整備。大宮のような駅前になって欲しい
- ・食物だけでなく、形として残る物の土産や特産品があると良い

○雇用の促進と労働環境の改善（4-1-2）

- ・観光も大切だが、雇用とのバランスが大切
- ・雇用対策（安定した仕事、正社員で働ける仕事）
- ・雇用の充実
- ・雇用を増やして欲しい
- ・最低賃金を守る取組
- ・仕事がないと過疎化が進む
- ・仕事が見つかって、地元で働けて女性も働きやすい
- ・働く場所があれば住む人も増えるから
- ・女性が働き続けることができる環境づくり

○農業の振興（4-1-3）

- ・水田が減少している
- ・農家の大規模化、兼業農家の農地の貸し借り、専門化
- ・農業に力を入れる
- ・農業の充実
- ・農業の担い手育成
- ・農地の保全

○商業の振興（4-1-4）

- ・1つの店が長続きしないので、そこを支援したらどうか
- ・おしゃれな店・街並みの整備
- ・お店がない、カフェがあるとよい
- ・多くの人に来てくれるようなまちに。お金を落としてもらおう商店街の発展
- ・クレアモールがもっと充実しているとよい
- ・クレアモールなど県内でのメリットを生かす
- ・クレアモールの奥が寂しい（遊々ランド辺り）
- ・川越には魅力が少ない。都内が楽しい
- ・近所にスーパーがなく、不便
- ・ゴミゴミしていない
- ・シャッター街対策
- ・商業が盛んなので、夜に遊んでも安全だとよい
- ・商店街が観光客に興味を持つようよう努力し、それをつなげる市の協力
- ・スーパーはあるが、カフェなどのおしゃれな店を増やす
- ・駅周辺以外の広い範囲でいろいろなお店があるとよい
- ・商店街の活性化
- ・商店街の差別化と観光との関連付け
- ・商店街への支援を
- ・店が少ない
- ・店の閉まる時間がはやい
- ・身近な商店街の充実
- ・地方都市だが商業施設が充実している
- ・中小企業に対する市の融資拡充。窓口の受け答え
- ・若い人も楽しめる店があるとよい
- ・霞ヶ関北は老人が増えたが2駅使え便利、商店街があるので買い物は便利
- ・商店街の活性化
- ・大規模な複合施設の整備、交通の発達

○工業の振興（4-1-5）

- ・大企業にはない物づくりの技術のアピール

○新たな観光事業の推進（4-2-1）

- ・イベントを増やす
- ・大きな祭りを実施して欲しい
- ・川越市は観光のイメージだと思う
- ・川越をアピールして外国人を誘致するとよい、古い街をアピール、エキゾチックのイメージ
- ・観光PRの推進
- ・観光イベントはもっと必要
- ・川越まつりだけではなく同じ規模のイベントをもっとやってほしい
- ・観光客を増やす取り組みをするべき
- ・観光地としてよく知られると自分がそこに住む自負につながる
- ・蔵づくりの夜の見せ方
- ・住んでいない人には観光のイメージを盛り上げていく
- ・特徴を生かした更なる観光PR
- ・祭り等に力を入れて欲しい、古いものを残しながら新しいものを作る
- ・祭りを周知
- ・小江戸ブランドを広げていく
- ・小江戸を生かした方がいい
- ・若者が訪れるまちになって欲しい

○観光環境の整備（4-2-2）

- ・いろいろな言語の案内があるといい
- ・一番街に住んでいるので、人が多いとにぎやかでよい
- ・一回行って何度でも行ってみたいまち
- ・小江戸の町並み（整備とアピール）
- ・オリンピックに向けた景気対策
- ・オリンピックに向けて外国語表記をもっとすべき
- ・菓子屋横丁が以前より活気がないので、活性化を。観光客が減少しているの
でPRを
- ・昔のまちなみを近代化しないで、そのままにしてほしい。
- ・菓子屋横丁などを昔のままで残してほしい
- ・川越にある伝統を広げていく
- ・川越まつり会館等、川越まつりの伝統の継承

- ・観光事業に力を入れてほしい、休憩所を作ってほしい
- ・観光客が増加している。観光地であり続けて欲しい
- ・蔵づくりのPR
- ・蔵造りの町並みが有名
- ・若者にも観光地がもっと楽しめるとよい
- ・県内からの観光客は多いが県外からの観光客は少ないので、PRが必要
- ・小江戸の情緒あふれるまちへ
- ・小江戸の町並みを大切に
- ・埼玉以外の人には珍しいので小江戸をPRする
- ・埼玉出身者の発表の場を増やしてほしい
- ・娯楽施設がほしい
- ・資金、観光客の呼び込み
- ・小江戸の町並みは維持、発展すべき
- ・まつりが有名なので、もっと宣伝したほうがよい
- ・時の鐘などいいものはPRすべき、観光事業をもう少し発展できれば京都のようになれる
- ・古い建物の保存。喜多院等観光地への行き方の案内板
- ・文化財を活かす、休日にしか賑わっていない、夕方には店が閉まっている
- ・見るところはたくさんあるので、もう少し活性化することが必要
- ・昔ながらの建物を残し、外国人観光客誘致を
- ・和風の雰囲気大切にしたら面白い
- ・川越まつりは残す
- ・駅前の観光施設の充実

●環境

○環境活動のためのしくみづくり (5-1-2)

- ・ごみはごみ箱に捨てる。ごみ箱を増やす
- ・集積所が荒らされているので、きれいにする、保つこと
- ・まちをきれいにし、ゴミを少なくする
- ・リサイクルの意識を市民にも持ってほしい

○地球温暖化対策の推進 (5-2-1)

- ・木が少ない
- ・クーラーの温度設定
- ・自然エネルギーを活用したまちづくり
- ・電気の使い過ぎを控え、温暖化対策

○ごみの減量化、資源化 (5-2-2)

- ・缶を減らす
- ・クレアモールにごみ箱が少ない。特にペットボトル。分別の細分化
- ・クレアモールにごみ箱設置（リサイクル箱の設置）、簡単にリサイクルに協力できる
- ・クレアモールの朝の居酒屋のごみを減らす
- ・ごみ、ペットボトル、たばこの吸い殻があつてきたない
- ・ゴミ対策の推進
- ・ゴミの減量化
- ・ごみの収集態度をよくする
- ・ゴミの収集を増やす
- ・ゴミの分別に力を入れて、一人一人が気をつける。無駄な包装を減らす
- ・ゴミのポイ捨てが多い。街並がきれいに見えるような整備を
- ・ゴミ箱の増設。リサイクル品の普及
- ・ゴミをきれいにしたほうがよい
- ・ごみをなくす
- ・スーパーのトレイ等がゴミにならないよう配慮すべき
- ・街がきれい
- ・まちの美化
- ・ポイ捨て、分別の改善
- ・畑をきれいに使って欲しい、畑へのポイ捨て対策をお願いしたい
- ・たばこなどの吸い殻の処理
- ・リサイクルボックスを町中に増やす

○自然環境の保全 (5-3-1)

- ・木が少ない
- ・空気・緑・花が充実

○生活環境の保全 (5-3-2)

- ・カラス等のゴミ対策
- ・汚い所に住みたくない
- ・きれいなまちづくり
- ・空気が悪い
- ・ゴミ、鳥の糞対策等、まちの美化
- ・排気ガスが少ないことが必要

●地域社会と市民生活

○地域コミュニティ活動の推進（6-1-1）

- ・新しい住民が参加できる場所を作ったほうがよい
- ・資源回収等地域活動、ふれ合いが活発だとい
- ・ご近所同士の助け合い
- ・コミュニケーションをとることが必要
- ・地域の人がお年寄りのために率先して手を貸す
- ・とにかく礼儀が大事。マナー向上
- ・協働してまちづくり
- ・自治会がもう少し行政のパイプ役になってもらい相談に乗ってほしい
- ・地域活動、他人とのコミュニケーションが大切
- ・若者や高齢者が自治会に入りやすい仕組みを整えてほしい
- ・人とのつながりの強化
- ・一人暮らしを気遣う
- ・マンションが多すぎる。チェーン店が多い＝人々のつながりが希薄、キャッチ（夜）が多い
- ・マナーが悪い、礼儀がないので教えてほしい
- ・地域で仲良くなる施策を

○防災体制の整備（6-2-1）

- ・地震対策
- ・集合住宅なので、避難場所をわかりやすく看板等で周知する
- ・住民にわかりやすい対策。役所と地域と一緒に作っていく防災対策
- ・自治会活動、年配者も若い世代もうまく関わるといい
- ・大震災など地域の結束が大切
- ・備蓄品の充実
- ・地震が少ない地域と聞いて引っ越してきた
- ・防災対策にも力をいれた方がよい

○消防・救急体制の整備（6-2-2）

- ・救急医療体制の充実
- ・救急車が来るのが遅い
- ・救急車で受け入れてくれる病院の確保

○防犯対策の推進（6-2-3）

- ・クレアモールで変な人が多い
- ・クレアモールのキャッチを何とかしてほしい
- ・街灯を増やしてほしい
- ・治安がよくなってほしい
- ・信号を増やす
- ・ストーカー対策。一人暮らしで怖い
- ・治安のいいところ
- ・犯罪件数、犯罪率
- ・防犯、犯罪が少ないまち
- ・防犯活動の強化
- ・不審者がでない
- ・物騒な場所がある
- ・変な人が多いのでパトロール強化
- ・夜道が暗いので危険
- ・防犯、外国人が多く言葉が通じないふりをされる
- ・夜一人でも歩ける（安全・安心）
- ・声を掛け合えるような雰囲気づくり

○交通安全対策の推進（6-2-4）

- ・交通ルールを守らない人が多い。信号を守って欲しい
- ・信号を増やす
- ・自転車置き場があるといい
- ・自転車の安全対策
- ・自転車マナーの向上
- ・高齢者に対しての犯罪を防ぐこと
- ・駐輪場がない、自転車を使えば駅にも来られるし、車が減る
- ・駐輪場の充実
- ・通学路の安全な通行、市内巡回バスの充実
- ・通学路を広くしてほしい
- ・バス停の脇に自転車置き場が必要
- ・カーブミラーが少ない
- ・信号待ちの時の車が危ない
- ・横断歩道の整備
- ・路上駐輪をなくしてほしい

●その他

- ・「ガイアの夜明け」を参考にして欲しい
- ・アピールが足りない
- ・いいところはそのままで
- ・今のままでよい
- ・いろいろなところへ宣伝する
- ・浦和と比べると劣る
- ・オリンピックがくるのはうれしいこと
- ・観光ばかりではない
- ・国の政策をするだけでなく、地域独自の制度で充実を図る
- ・現住所地から遠いため住めない
- ・市のPR、メディアへの露出
- ・住んでいるところよりさみしく見える
- ・宣伝が足りない
- ・相続に関する学習セミナーの開催
- ・小さいころから住んでいるので将来の子供たちにも知ってもらいたい
- ・どの世代でも楽しめるまち
- ・何も言うことはない、Good
- ・引っ越してきたばかりでよくわからない
- ・一人ひとりがちゃんとしてもらう
- ・他のまちよりは良い
- ・補助金が充実
- ・まあまあよい
- ・呼びかけではどうにもならない
- ・鎌倉の友人が川越にまた来たいといていた
- ・今の川越に住みたい
- ・南連絡所が19時まで開いているとよい
- ・有名人を呼んでほしい

3 参考資料

(1) 実施概要

○目的

高校生などの若い世代や在勤・在学者の意見を幅広く聞き出すことにより、多様な意見及びニーズを把握し、もって次期川越市総合計画の策定に資することを目的とする。

○対象者

高校生などの若い世代、市内在勤・在学の者

○実施日時

平成26年6月23日（月）～27日（金）

午後5時15分～午後7時15分（※前後15分間準備等の時間を含む）

○実施場所

川越駅、川越市駅、本川越駅、新河岸駅、南古谷駅及び霞ヶ関駅

(2) 実施方法

○テーマ

第三次川越市総合計画基本計画は、各分野に共通する章と目的に応じた6つの行政分野で構成されている。本調査では、共通章を除く全6章の施策について、今後住み続けたいまち（市外の方は、住んでみたいまち）になるために必要な施策を考えてもらうものである。

○調査の方法

川越がずっと住み続けたいまち（市外の方は、住んでみたいまち）になるためにどのような施策が必要か、ボード（※1）に属性ごと5種類のシール（※2）を貼ってもらう。

(3) 実施結果

件数及び性別については、ボードに貼られたシール908件を合計数、それ以外については、対面式アンケート調査に協力していただいた方905人について、個票に記載された合計数を取りまとめている。

また、全ての属性を把握できなかった者がいるため、各項目の合計数は一致しない場合がある。

○件数

908件（性別：男性 383人 女性 520人 その他不明）

まちかどインタビュー

	6月23日(月)	6月24日(火)	6月25日(水)	6月26日(木)	6月27日(金)	合計
川越駅	66	73	63	56	61	319
川越市駅	25	50	45	54	46	220
本川越駅	30	48	45	48	44	215
新河岸駅	51					51
南古谷駅		53				53
霞ヶ関駅			50			50
合計	172	224	203	158	151	908

※ボードに貼られたシールの合計数であり、属性の合計数とは一致しない場合がある。

○年齢

10代	394人
20代	173人
30代	90人
40代	79人
50代	68人
60代	53人
70代以上	26人

○カテゴリー

高校生	283人
大学生・専門学校生等	155人
勤労者	385人
その他	64人

○勤務地・学校所在地

市内	440人
県内	291人
東京	99人
その他県外	11人

○居住地

市内	416人
県内	419人
東京	44人
その他県外	17人

※カテゴリー「その他」の者は、対象外として分類した。

○個別質問の結果

問 「川越がずっと住みたいまち（住んでみたいまち）になるために、どのような施策が必要ですか。」

・結果

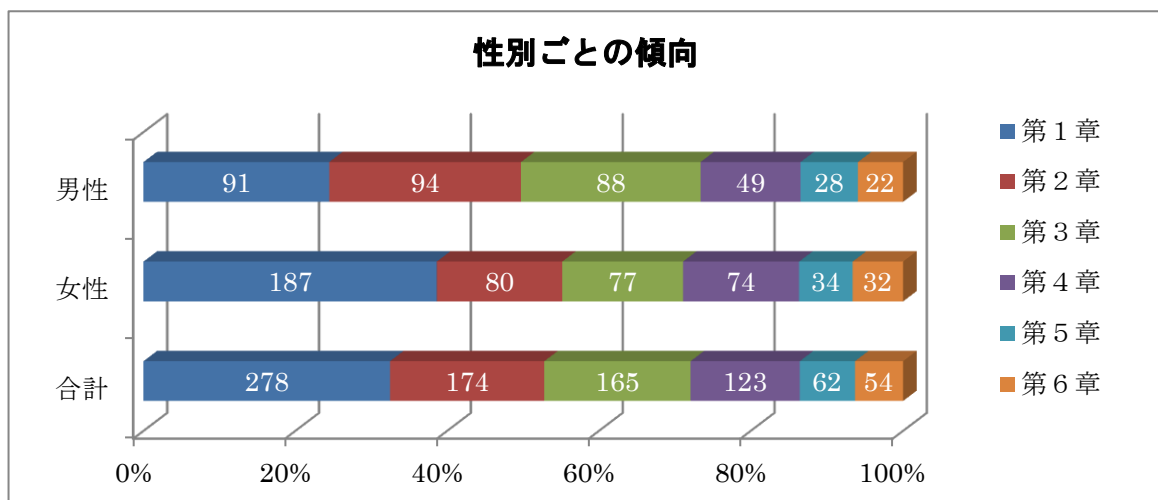
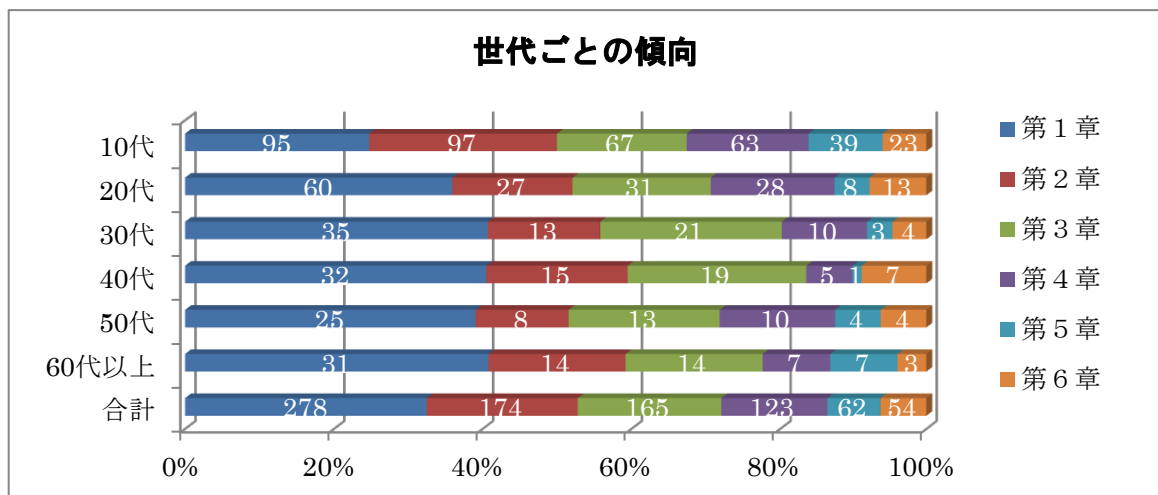
	第1章	第2章	第3章	第4章	第5章	第6章
	保健・医療・福祉	教育・文化・スポーツ	都市基盤・生活基盤	産業・観光	環境	地域社会と市民生活
合計	297人	184人	173人	131人	62人	61人

※ボードに貼ったシールの数の合計

・傾向

世代ごとの傾向として、どの世代でも第1章を選択した人数が一番多い結果となった。性別ごとの傾向として、女性は全体結果と同じ傾向であるのに対し、男性は、第1章から第3章の重要性については、ほぼ同じ結果となっている。

なお、以下の表では、性別と年齢の両方が確認できるものをクロス集計しているため、全体の合計数と一致していない。



問 「投票した施策について、どのキーワードが気になりましたか。」

・結果

第1章							合計
子育て支援	高齢者福祉	健康づくり	医療	その他			
109	86	5	83	6			289

第2章							合計
学校教育の充実	生涯学習	スポーツ	文化・芸術活動	文化財の保存	その他		
46	16	59	37	12	2		172

第3章							合計
道路・通学路整備	都市景観	公園の充実	自転車・バス交通の充実	その他			
61	18	19	65	9			172

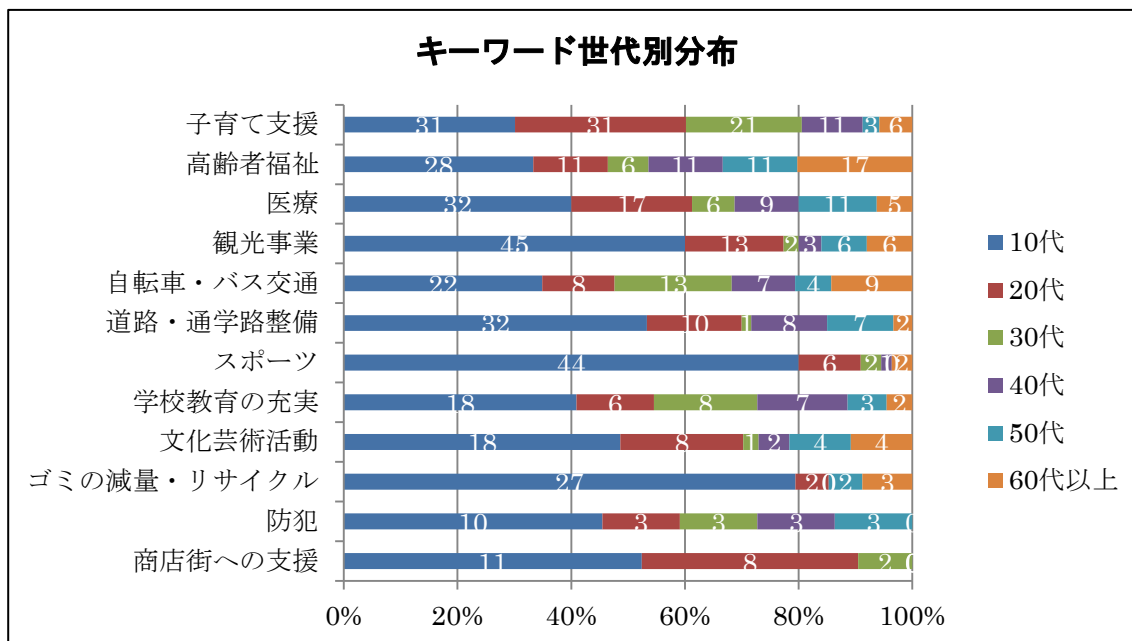
第4章							合計
雇用・労働環境	商店街への支援	産業振興(農商工)	観光事業	その他			
17	23	11	78	0			129

第5章							合計
自然環境の保全	地球温暖化対策	生活環境の保全	ゴミの減量・リサイクル	その他			
17	6	0	34	5			62

第6章							合計
地域コミュニティ	防災	防犯	交通安全	消費者対策	人とのつながり	その他	
10	7	23	12	3	3	0	58

回答先不明
23

合計
905



問 「川越の将来都市像について、ひとことで表すとしたらどんなまちですか。
「住み続けたいまち（住んでみたいまち）とは、（ ）の（な）まち」

・結果

登場回数	キーワード	登場回数	キーワード
92回	安全	9回	スポーツ、地域、施設、古い
55回	安心	8回	にぎやか、大切、優しい、川越
44回	住む	7回	伝統、平和、小江戸
34回	きれい	6回	犯罪、教育、元気、住める、暮らす、新しい、たくさん、今
30回	便利	5回	ゴミ、商業、年寄り、健康、集まる、盛る、歩ける
30回	明るい	4回	近所、思いやり、若者、都市、生活、調和、融合、楽しめる、落ち着く、コミュニティ、
28回	良い	3回	現代、災害、公園、市民、周り、周辺、女性、世代、仲よし、雰囲気、魅力、老若男女、関係、共存、支援、自慢、発展、分別、利用、のどか、穏やか、活発、気軽、清潔、静か、帰る、残す、残る、捨てる、強い、美しい、昭和
24回	充実	2回	ブランド、温故知新、街並み、居心地、空気、経済、事故、住民、城下町、人々、図書館、地区、電車、都会、道路、農業、風景、文化財、未来、名残、老人、拡充、協力、買い物、勉強、幸せ、親切、大事、熱心、必要、豊富、栄える、感じる、見る、使う、思える、持てる、整う、生かす、働く、歩く、訪れる、遊べる、来る、安い、若い、昔、夜
22回	子育て		
21回	活気		
21回	歴史		
20回	自然		
19回	交通		
19回	子ども		
19回	多い		
17回	文化		
16回	高齢		
16回	治安		
15回	笑顔		
15回	豊か		
15回	楽しい		
14回	観光		
13回	暮らせる		
11回	医療		
11回	環境		
10回	福祉		

※ 2回以上登場する単語を掲載した。

まちかどインタビュー

2 女性限定！おしゃべりカフェ

1 女性限定！おしゃべりカフェの結果

目的:子育てを含め、社会で活躍する女性の話し合いの場を設けることにより、女性目線での多様な意見及びニーズを把握する。

- ① 課題、力を入れるべき取組について、児童福祉と生涯学習環境に関する意見が多い。
- ② 子育てをはじめ、子どもの環境や地域コミュニティについての意見が多い。
- ③ 個別施策の参考意見
 - ・ 学童保育の改善（時間、曜日、送迎等）
→児童福祉の推進
 - ・ 仕事を辞めなくても介護ができるような、訪問、在宅医療の拡大
→社会保障・福祉施策
 - ・ プレイパーク
→公園の整備と充実
 - ・ 地域で子育て
→児童福祉の推進、地域福祉の推進、地域コミュニティ活動の推進
 - ・ 転入者と前からの住民が歩み寄る
→地域コミュニティ活動の推進
 - ・ 子育て中とかではなく、色々な世代の女性が集まれる場所がほしい
→男女共同参画社会の実現
 - ・ 市の防犯メールを健診の場で周知する
→防犯対策の推進

〈将来都市像〉（出された将来都市像の全てを掲載）

- ・ 寛容なまち、人々であり続けてほしい
- ・ 寛容なまち、人であってほしい
- ・ 子どもにとっても安全、安心なまち
- ・ みんなで川越を楽しもう

〈課題〉（多く意見が出された施策）

- ・ 児童福祉の推進（1-1-1）
- ・ 生涯学習環境の整備・充実（2-1-1）
- ・ 公園の整備と充実（3-3-5）

- ・地域コミュニティ活動の推進（6-1-1）
- ・電子市役所の推進（0-2-4）
- ・教育環境の整備・充実（2-2-2）
- ・消防・救急体制の整備（6-2-2）

〈力を入れるべき取組〉（多く意見が出された施策）

- ・児童福祉の推進（1-1-1）
- ・地域コミュニティ活動の推進（6-1-1）
- ・高齢者福祉の推進（1-1-2）
- ・公共交通機関の充実（3-2-3）
- ・公園の整備と充実（3-3-5）
- ・防犯対策の推進（6-2-3）

2 総合計画の体系別にした市民等の言葉

(1) 将来都市像に係る言葉

●地域社会と市民生活

- ・寛容なまち、人々であり続けてほしい
- ・寛容なまち、人であってほしい
- ・子どもにとっても安全、安心なまち
- ・みんなで川越を楽しもう

(2) 課題に係る言葉

●共通

○電子市役所の推進 (0-2-4)

- ・他市はHPにいろいろなイベントが出ているが、川越はない

●保健・福祉・医療

○児童福祉の推進 (1-1-1)

- ・病児保育をもっと使いやすくしてほしい
- ・働きたくても預け先がない
- ・保育園に入れない
- ・放課後子ども教室
- ・学童保育の改善（時間、曜日、送迎）
- ・延長保育が思うようにできない
- ・学童、保育園の送迎サービス
- ・学童、保育園を希望する時期に入れない
- ・母子の催しは平日にはあるが土日にはない
- ・働く母親と家にいる母親の接点がない

●教育・文化・スポーツ

○生涯学習環境の整備・充実 (2-1-1)

- ・自習室が少ない
- ・川越のプラネタリウムはつまらない
- ・遊び場所があってもソフトがない
- ・児童館は小学生が多く、未就学児を遊ばせるスペースが少ない
- ・一般市民が率先して何かをやる場がない

○教育環境の整備・充実 (2-2-2)

- ・学校にエアコンがない

●都市基盤・生活基盤

○公園の整備と充実 (3-3-5)

- ・手ごろな公園が少ない

- ・公園が少ない
- ・子どもが遊ぶ場所が少ない

●地域社会と市民生活

○地域コミュニティ活動の推進（6-1-1）

- ・街は好きだけど人は嫌い
- ・核家族化が進んで家庭内だけで悩みを抱えやすい

○消防・救急体制の整備（6-2-2）

- ・三次救急が少なく、たらいまわし

(3) 実現方策に係る言葉

●共通

○新たな行財政運営システムの構築（0-2-1）

- ・土日に市のサービスを提供する

○効率的な社会資本整備の推進（0-2-2）

- ・合同庁舎の導入（市役所、図書館、託児所など）

●保健・医療・福祉

○児童福祉の推進（1-1-1）

- ・育休中と復帰後の人間関係が続けられない
- ・学童に民間活用を取り入れる
- ・土日祝日の預かり先の拡充
- ・病気の時の預かり先の拡充
- ・希望時に誰でも入れるよう保育園の増設
- ・民間学童、託児所（送迎付き）を誘致する
- ・民間の学童が地域にない
- ・未就学児向けに平日に遊びのイベント企画

○高齢者福祉の推進（1-1-2）

- ・仕事を辞めなくても介護が両立できるように、訪問、在宅医療の拡大
- ・介護の充実

○障害者福祉の推進（1-1-3）

- ・障害をもつ子どもへの施設サービスの充実

○健康づくりの推進（1-2-1）

- ・土日に健診など、働く親への配慮

●教育・文化・スポーツ

○豊かな人間性をはぐくむ教育の推進（2-2-1）

- ・小学生の職場体験

○教育環境の整備・充実（2-2-2）

- ・子どもの育つ環境を充実させてほしい

●都市基盤・生活基盤

○公共交通機関の充実(3-2-3)

- ・本川越と川越駅をくっつけてほしい
- ・バスを充実してほしい

○公園の整備と充実(3-3-5)

- ・プレーパークをどうしたら作れるか
- ・市民の森を活用したらどうか

●地域社会と市民生活

○地域コミュニティ活動の推進(6-1-1)

- ・横のつながりがほしい
- ・地域で子育てをしたら悩みがなくなるのでは
- ・よそ者（転入者、観光客）と先祖代々の人が歩み寄る
- ・“子育て中”とかではなく、いろいろな世代の女性が集まれる場所がほしい

○防犯対策の推進(6-2-3)

- ・市の防災防犯メールを健診の場で周知する
- ・下校時の見回りを保護者以外の人を行う

3 参考資料

(1) 実施概要

○目的

子育てを含め、社会で活躍する女性の話し合いの場を設けることにより、女性目線での多様な意見及びニーズを把握し、もって次期川越市総合計画の策定に資することを目的とする。

○対象者

市内在住の20代～40代の女性

○実施日時

平成26年9月28日（日）

14時～16時

○実施場所

クラッセ川越 5階研修室



(2) 実施方法

○テーマ

ずっと住み続けたいまちになるために～女性の目線から～

○ワークショップ手法

ワールドカフェ方式によるワークショップにて実施した。

○スケジュール

	内 容	時 間
①	開会・趣旨説明及び話し合いの進め方等	15分
②	自己紹介やテーブルホスト（1名）を決める。	5分
③	ワールドカフェ ・3ラウンド（1ラウンド20分）	60分
④	休憩	10分
⑤	発表 ・1グループ3分程度	10分
⑥	感想・振り返り ・一人30秒程度	10分
⑦	全体総括・閉会	10分

○ワークショップのルール

グループワークに当たっては、実りある会議になるよう、次の「ルール」を設けた。

- ・問いに集中して話し合う
- ・自分の考えを積極的に話し、模造紙に書く
- ・話は短く、簡潔に
- ・相手の話を否定せず、耳を傾ける
- ・遊び心で、いたずら書きをしたり絵を描いたりする
- ・会話を楽しむ



(3) 実施結果

広報、ホームページ、及びポスター等にて募集をしたところ、合計14名の申込があり、当日はその内11名の参加（託児8名）があった。

4人×2グループ、3人×1グループの合計3グループによるグループワーク及び発表を行った。

○申込状況及び当日参加者

年代	申込人数	当日参加者人数	当日託児人数
20代	1人	1人	8人
30代	7人	6人	
40代	6人	4人	
計	14人	11人	
平均年齢	38歳	38.7歳	

3 大学生インタビュー

1 大学生インタビューの結果

目的：大学生の意見を聴取することにより、若年層の意見及びニーズを把握する。

- ① 魅力、課題、力を入れるべき取組について、交通と観光についての意見が多い。
- ② 生活環境、防犯等についての意見が多い。
- ③ 個別施策の参考意見
 - ・公園で野外ライブを実施する
→文化芸術活動の充実
 - ・時間帯によってバス・トラック等の大型自動車の通行を制限する
→交通円滑化方策の推進
 - ・観光で地元にお金が落ちる仕組み
 - ・参加型のまつり（地域密着を目指す）
→新たな観光事業の推進
 - ・寺をいかす
→新たな観光事業の推進、地域コミュニティの活動の推進
 - ・クレアモールにゴミ箱を設置する
→生活環境の保全

〈将来都市像〉（出された将来都市像の全てを掲載）

- ・音楽で笑顔あふれるまち
- ・外国人が住みやすいまち
- ・スポーツの盛んなまち
- ・道が広いまち
- ・交通が便利なまち
- ・交通機関の充実しているまち
- ・東京から近いまち
- ・静かでのどかなまち
- ・遊ぶ所がたくさんあるまち
- ・降りてみたくなるまち
- ・観光のまち
- ・関東にある京都みたいなまち

- ・きれいなまち（2件）
- ・歩きタバコのないまち
- ・女性が活躍できるまち
- ・安全なまち
- ・事故・事件のないまち
- ・他の見本となるまち
- ・伝統と最先端がまざったまち

〈魅力〉（多く意見が出された施策）

- ・新たな観光事業の推進(4-2-1)
- ・観光環境の整備(4-2-2)
- ・芸術文化活動の充実(2-3-1)
- ・公共交通機関の充実(3-2-3)

〈課題〉（多く意見が出された施策）

- ・観光環境の整備(4-2-2)
- ・交通円滑化方策の推進(3-2-2)
- ・公共交通機関の充実(3-2-3)
- ・防犯対策の推進(6-2-3)
- ・生活環境の保全(5-3-2)

〈力を入れるべき取組〉（多く意見が出された施策）

- ・新たな観光事業の推進(4-2-1)
- ・観光環境の整備(4-2-2)
- ・道路交通体系の整備(3-2-1)
- ・交通円滑化方策の推進(3-2-2)
- ・商業の振興(4-1-4)

2 総合計画の体系別にした市民等の言葉

(1) 将来都市像に係る言葉

●教育・文化・スポーツ

○芸術文化活動の推進(2-3-1)

- ・音楽で笑顔あふれるまち

○多文化共生と国際交流・協力の推進(2-4-1)

- ・外国人が住みやすいまち

○生涯スポーツの推進(2-5-1)

- ・スポーツの盛んなまち

●都市基盤・生活基盤

○道路交通体系の整備(3-2-1)

- ・道が広いまち

○公共交通機関の充実(3-2-3)

- ・交通が便利なまち
- ・交通機関の充実しているまち

○水辺と森林の整備(3-3-4)

- ・静かでのどかなまち

●産業・観光

○新たな観光事業の推進(4-2-1)

- ・遊ぶ所がたくさんあるまち
- ・降りてみたくなるまち
- ・観光のまち

○観光環境の整備(4-2-2)

- ・関東にある京都みたいなまち
- ・東京から近いまち

●環境

○廃棄物の適正処理(5-2-3)

- ・きれいなまち(2件)

●地域社会と市民生活

○男女共同参画社会の実現(6-1-3)

- ・女性が活躍できるまち

○防犯対策の推進(6-2-3)

- ・歩きタバコのないまち
- ・安全なまち
- ・事故・事件のないまち

●その他

- ・他の見本となるまち
- ・伝統と最先端がまざったまち

(2) 魅力に係る言葉

●教育・文化・スポーツ

○芸術文化活動の充実(2-3-1)

- ・川越駅西口に大きなホールができる⇒駅付近でイベントができる

○その他

- ・教育・文化・スポーツに関しては強い

●都市基盤・生活基盤

○公共交通機関の充実(3-2-3)

- ・駅が近い

●産業・観光

○新たな観光事業の推進(4-2-1)

- ・イベントは多い(まつり、花火、ジャズフェス、第九の夕べ等)
- ・川越まつり
- ・観光面で頑張っている
- ・着物のイメージ

○観光環境の整備(4-2-2)

- ・駅から一番街までの道のりは時代が遡るよう
- ・古い町並みはある(一部のみ)
- ・蔵造り
- ・クレアモールと蔵造りが賑わっている

(3) 課題に係る言葉

●共通(協働によるまちづくりと健全で効率的な行財政運営の推進)

○新たな行財政運営システムの構築(0-2-1)

- ・住民票を取るのが大変

●保健・医療・福祉

○児童福祉の推進(1-1-1)

- ・母親が休める場所がない
- ・保育所が不足している

○高齢者福祉の推進(1-1-2)

- ・老人が多い

●教育・文化・スポーツ

○芸術文化活動の充実(2-3-1)

- ・有名な演奏ホールが少ない

○文化財の保存・活用(2-3-2)

- ・昔の文化にとらわれ過ぎて今っぽくない

○多文化共生と国際交流・協力の推進(2-4-1)

- ・外国人の文化に対応できない

○生涯スポーツの推進(2-5-1)

- ・大きなスタジアムがない
- ・プロスポーツクラブがない⇒拠点が偏っている(大宮、浦和)

●都市基盤・生活基盤

○景観に配慮したまちづくり(3-1-4)

- ・景観が良くない

○道路交通体系の整備(3-2-1)

- ・国道16号線と254号線の曲がりづらさ

○交通円滑化方策の推進(3-2-2)

- ・一番街の交通が悪い(2件)
- ・交通量が多い
- ・自転車が停め過ぎ
- ・車線が少ない
- ・渋滞が多い
- ・信号が多い
- ・スピード出せない
- ・道路が狭い(3件)
- ・歩道が整備されていない(2件)
- ・本川越駅前の信号と踏切がイライラ
- ・路上駐車が多い

○公共交通機関の充実(3-2-3)

- ・川越線が単線である
- ・市街地以外はバスがない(2件)
- ・市民会館へのアクセスが不便
- ・終電が早い(2件)
- ・深夜バスがない
- ・電車がすぐ止まる
- ・電車の本数が少ない
- ・バスが少ない
- ・人が多い(駅利用者)

○水辺と森林の整備(3-3-4)

- ・自然・緑がない／少ない（2件）

○公園の整備と充実(3-3-5)

- ・公園がない

●産業・観光

○地域振興拠点の整備と新しい産業の育成(4-1-1)

- ・クレアモール以外栄えていない
- ・クレアモールの廃れた感

○雇用の促進と労働環境の改善(4-1-2)

- ・女性の働く場所が少ない

○新たな観光事業の推進(4-2-1)

- ・川越といえば観光のはずなのに、パッとしない
- ・知名度が低い／認知度が低い(2件)
- ・メディア等の露出は多いが、イベントが少ない

○観光環境の整備(4-2-2)

- ・案内板が少ない
- ・一番街は観光客が多過ぎる
- ・駅員の能力不足（言語）
- ・駅前がビルだらけ
- ・ガイドの数が少ない
- ・学生以外若い人が少ないイメージ
- ・学校帰りに遊ぶ所が少ない
- ・観光客が多い(ゴミが多い)
- ・観光地がない
- ・蔵造り以外の魅力がない
- ・食事のメニューに写真がない
- ・タクシーの態度が悪い
- ・中途半端。川越の良さが見えない
- ・特化したものがない
- ・古くさい町並み
- ・店の清潔感がないところがある
- ・夜の観光がない

●環境

○ごみの減量化、資源化(5-2-2)

- ・ゴミが多い

○廃棄物の適正処理(5-2-3)

- ・タバコの吸い殻&ポイ捨て

- ・ポイ捨てが多い

○生活環境の保全(5-3-2)

- ・歩きタバコがある
- ・クレアモールなどの狭い道、人通りの多い道での歩きタバコが多い。
- ・駅を出てすぐに喫煙所がない。結果、クレアモールに歩いていく人が歩きタバコをする。
- ・鳥の大群、糞
- ・本川越駅周辺に喫煙所がない

●地域社会と市民生活

○地域コミュニティ活動の推進(6-1-1)

- ・伝統に重点が置かれていて、人との関わりが薄い。

○男女共同参画社会の実現(6-1-3)

- ・育児休暇などにより女性の出世が難しい

○防犯対策の推進(6-2-3)

- ・絡まれる、出歩けない(クレアモール)
- ・クレアモールがうるさい(夜間)
- ・女性にやさしくないまち(主に治安)
- ・地域によって、街灯(防犯灯)の有無の差が大きい
- ・治安が悪い
- ・万引き、盗難、治安が悪い
- ・モラルが悪い
- ・夜間のクレアモールでキャッチセールスが多い

○交通安全対策の推進(6-2-4)

- ・ガードレールがない
- ・子どもには危ない道が多い
- ・自動車の運転が怪しい
- ・信号がない

●その他

- ・駅か田んぼかラーメン屋
- ・ラーメン屋、雑貨屋が多過ぎる

(4) 実現方策に係る言葉

●共通(協働によるまちづくりと健全で効率的な行財政運営の推進)

○市民参加と協働の推進(0-1-1)

- ・情報の公開、発信(受け身ではなく能動的に)

○財源の確保(0-2-3)

- ・財源、人員の確保（2件）

●保健・医療・福祉

○児童福祉の推進(1-1-1)

- ・母親同士のつながりの場をつくる
- ・母親の集会所、子どもが見えるところに預けられる
- ・母親割のような優遇
- ・ベビーシッター等を市で監視する
- ・保育所の増加

○地域福祉の推進(1-1-4)

- ・学生街を作ってしまう（若者が福祉へ参加）
- ・子育て終了世代と子育て世代との交流

●教育・文化・スポーツ

○生涯にわたる学習活動の推進(2-1-2)

- ・PTAががんばって

○芸術文化活動の充実(2-3-1)

- ・17時のチャイムの見直し
- ・ウェスタ川越多目的ホールの活用
- ・各公園で野外ライブを実施する（水上公園のプール開きは人が集まる）

○文化財の保存・活用(2-3-2)

- ・伝統を大事にする

○多文化共生と国際交流・協力の推進(2-4-1)

- ・駅員は第3言語必須
- ・外国人との交流会を開く
- ・文化が混ざった地域を目指す
- ・メディアに外国人にとって住みやすいことを発信

○生涯スポーツの推(2-5-1)

- ・市内にスタジアムを建設
- ・地元スポンサーを誘致（プロスポーツ）
- ・スポーツに対して市民に関心を持ってもらう
- ・プロスポーツクラブ設立
- ・目玉になるホームスタジアムの建設

●都市基盤・生活基盤

○計画的なまちづくり(3-1-1)

- ・新しいまちづくり
- ・最先端を目指す→外部にも伝わるようなまちづくり
- ・用途地域の見直し

○景観に配慮したまちづくり(3-1-4)

- ・一番街を増築
- ・蔵造り拡張計画
- ・住民に許可を得て、(建物の) 外観を変える

○道路交通体系の整備(3-2-1)

- ・運転しやすい道
- ・大きい道を作る
- ・裁判所前から松江町まで車線増幅すればスムーズ
- ・全体的に道幅を拓げる
- ・線路を回避する道を設ける
- ・道路、歩道を広く。交通整備。
- ・道路を拓げ、木を植えたりする
- ・フリーウェイを上を作る
- ・歩道の整備／拓幅(4件)

○交通円滑化方策の推進(3-2-2)

- ・一番街を歩行者天国にする
- ・駅周辺に自転車レンタルやシェアの導入
- ・時間帯によって、バス・トラック等の大型自動車の通行を制限する
- ・自転車道の整備(2件)
- ・信号を減らす、信号の間隔をあける
- ・駐車場、駐輪場を増やす
- ・道路を一方通行にして2車線にする
- ・連雀町交差点から札の辻交差点を歩行者天国にする

○公共交通機関の充実(3-2-3)

- ・川越市止まりの電車をなくす(夜間)
- ・川越線の複線化
- ・深夜バスを遅くまで、川越以外にも
- ・電車・バスの増便／ダイヤの見直し(3件)

○水辺と森林の整備(3-3-4)

- ・小川を流す
- ・公園などに木を植える
- ・自然を増やす
- ・日本らしさを取り入れる(自然など)
- ・歩行者天国に木を植える
- ・水、木を取り入れる
- ・道沿いに木を植える

○公園の整備と充実(3-3-5)

- ・子どもが遊べる公園等の整備

○快適な住宅・住環境の整備(3-3-6)

- ・福祉、教育、若者に向けた寮やマンション等(集まる、騒げる)

●産業・観光

○雇用の促進と労働環境の改善(4-1-2)

- ・母親の職場を増やす

○商業の振興(4-1-4)

- ・一番街に地元企業を進出させる
- ・今の町並みを残しつつショッピングモールや場所を増やし、都会っぽくする
- ・映画館や遊ぶ所を作る
- ・駅周辺に川越独自のバーなど
- ・駅周辺の誘致
- ・駅の中に店舗を誘致する
- ・巨大ショッピングモール
- ・シャッター街を蔵の町みたいにする
- ・何でもそろそろ便利さ

○新たな観光事業の推進(4-2-1)

- ・外国人観光客を増やす(インバウンド)
- ・外国人観光客にお金を落としてもらう)
- ・外国人にガイドをしてもらう
- ・川越まつりで芸能人を呼ぶ
- ・クリアモールや一番街でパレード等
- ・参加型のまつり→地域に密着を目指す
- ・地元大学との連携(ライトアップ継続)
- ・地元企業との連携
- ・地元にお金が落ちる仕組み
- ・終日観光
- ・寺をいかす
- ・ときもの活用
- ・特産イモのPR、ときもの活用
- ・舞妓的な存在をつくる
- ・見た目が変われば、味覚、嗅覚もついてくる。和の食べ物、日本の和の音
- ・夜間の観光

- ・お掃除アイドルを活動させる

○観光環境の整備(4-2-2)

- ・案内板を増やす／目立つ場所に（2件）
- ・粋な江戸の再現
- ・街灯、和風の木、駅メロ、学校、公共施設
- ・観光に対する情報共有（産・官・民）
- ・観覧車
- ・散歩できる（したくなる）町
- ・視覚的に魅力を持つ（観光特化）
- ・食事のメニューに写真を付けて分かりやすく
- ・少しずつ見た目を変えていこう
- ・古い町並みをいかす
- ・歩道橋を木造に
- ・若者向けの手当て、施設等

●環境

○計画的な環境事業の推進(5-1-1)

- ・ポイ捨て罰金（条例作成）

○環境活動参加のためのしくみづくり(5-1-2)

- ・ゴミ拾いのイベント開催
- ・小学生の標語

○ごみの減量化、資源化(5-2-2)

- ・ゴミが出るものを売らない

○廃棄物の適正処理(5-2-3)

- ・落ちているタバコの吸い殻を少なくする(5-2-3)

○生活環境の保全(5-3-2)

- ・喫煙所の案内を分かりやすくする
- ・喫煙所をつくる
- ・クリアモールにゴミ箱を設置する
- ・ゴミ箱の設置（2件）
- ・ゴミ箱マップを作成する
- ・地面に路上喫煙禁止の表記

●地域社会と市民生活

○地域コミュニティ活動の推進(6-1-1)

- ・地域団体の協力
- ・ボランティア活動をする（2件）

○平和で思いやりのある地域社会づくり(6-1-2)

- ・ 住みやすいまち
- 男女共同参画社会の実現(6-1-3)
 - ・ 女性主体の労働環境をつくる
 - ・ 女性にやさしい社会づくり
- 青少年健全育成の推進(6-1-4)
 - ・ しつけをしっかりとる
 - ・ 常識をつける
- 防犯対策の推進(6-2-3)
 - ・ 青い街灯を増やす(青い光に防犯効果があるといわれる)
 - ・ パトロール強化
 - ・ 変質者を減らす
 - ・ 防犯カメラの設置
 - ・ 防犯、監視
 - ・ ボランティアや警察による見回り
 - ・ 路上ライブの取り締まりを厳しく
- 交通安全対策の推進(6-2-4)
 - ・ ガードレールの整備
 - ・ 自転車レーンに駐車させない
 - ・ 信号の増設
 - ・ バランスのよい信号配置
 - ・ 無断駐車、無断駐輪の取り締まりを厳しく
- 消費者対策の推進(6-2-5)
 - ・ キャッチセールスを減らす
- その他
 - ・ 風俗店をなくす

3 参考資料

(1) 実施概要

○目的

大学生の意見を聴取することにより、若年層の意見及びニーズを把握し、もって次期川越市総合計画の策定に資することを目的とする。

○対象者 市内在学の大学生

○実施した大学及び実施日時 ※実施順

(1) 東京国際大学

平成26年 9月19日(金) 14時50分から18時00分まで

(2) 東邦音楽大学

平成26年 9月26日(金) 14時30分から17時30分まで

(3) 東洋大学

平成26年10月 7日(火) 13時10分から16時10分まで

(4) 尚美学園大学

平成26年12月16日(火) 13時00分から14時30分まで

○実施場所 市内の各大学

(2) 実施方法

○テーマ

川越市が「ずっと住み続けたいまち(住んでみたいまち)」となるために必要な取組について

○ワークショップ手法

オープン・スペース・テクノロジー(OST)方式によるワークショップにて実施した。

(3) 実施結果

市内各大学の協力を得て、4大学77人の大学生の参加があった。

大学名	合計	男性	女性	1年	2年	3年	4年	市内	県内	都内	他県等
東京国際大学	19	12	7	0	3	9	7	6	9	3	1
東邦音楽大学	20	5	15	0	0	19	0	5	4	7	3
東洋大学	23	20	3	0	0	18	5	5	12	3	3
尚美学園大学	15	13	2	0	15	0	0	1	11	2	0
合計	77	50	27	0	18	46	12	17	36	15	7

4 若者ワークショップ

1 若者ワークショップの結果

目的：将来の本市を担う若年層の意見を把握する。

- ① 課題、力を入れるべき取組について、交通と観光についての意見が多い。
- ② 個別施策の参考意見
 - ・ 中心市街地と周辺地域の格差を解消させること。
→総合的な交通体系の整備
 - ・ 小中学校にクーラー設置
→教育環境の整備・充実
 - ・ 市内循環バスの充実が必要
→公共交通機関の充実
 - ・ ご当地アイドルを有名に
→新たな観光事業の推進
 - ・ 地域の交流の場を増やす
→地域コミュニティ活動の推進

〈将来都市像〉（出された将来都市像の全てを掲載）

- ・ 人々とつながるまち 川越
- ・ どこでも便利な自慢のまち 川越
- ・ 期待感 行きたい感 一体感 川越
- ・ 整ったまち川越！ ～ 人×夢×笑顔＝川越 ～

〈課題〉（多く意見が出された施策）

- ・ 公共交通機関の充実(3-2-3)
- ・ 道路交通体系の整備(3-2-1)
- ・ 新たな観光事業の推進(4-2-1)
- ・ 交通安全対策の推進(6-2-4)
- ・ 計画的なまちづくり(3-1-1)

〈力を入れるべき取組〉（出された意見の分野）

- ・ 13件 「都市基盤・生活基盤」 ・ 7件 「産業・観光」
- ・ 3件 「保健・医療・福祉」、「教育・文化・スポーツ」、「環境」、
「地域社会と市民生活」

※（ ）内は第三次川越市総合計画後期基本計画の施策番号

2 総合計画の体系別にした市民等の言葉

(1) 将来都市像に係る言葉

- ・人々とつながるまち 川越
- ・どこでも便利な自慢のまち 川越
- ・期待感 行きたい感 一体感 川越
- ・整ったまち川越！ ～ 人×夢×笑顔＝川越 ～

(2) 課題に係る言葉

●保健・福祉・医療

○児童福祉の推進 (1-1-1)

- ・子育てしやすい環境づくり
- ・子供への手当がいい

○高齢者福祉の推進 (1-1-2)

- ・老後の安心

○社会保障の推進 (1-1-5)

- ・年金の安定

○健康づくりの推進(1-2-1)

- ・健康に暮らせる町
- ・安心して暮らせる町

●教育・文化・スポーツ

○生涯学習環境の整備・充実(2-1-1)

- ・福原地区に図書館がない

○豊かな人間性をはぐくむ教育の推進(2-2-1)

- ・学力向上

○芸術文化活動の充実(2-3-1)

- ・文化の尊重

○生涯スポーツの推進(2-5-1)

- ・屋外スポーツ施設の増加
- ・スポーツに力を入れている町
- ・運動ができる（施設）

●都市基盤・生活基盤

○計画的なまちづくり(3-1-1)

- ・バリアフリーの実現してほしい
- ・駅周辺と郊外の格差を少しでも小さく
- ・都市部以外の整備（駅の近くなど）
- ・バリアフリー化がいまいち

- ・ 田んぼを残したい
- ・ 駐車場少ない
- ・ 福原地区にスーパーがない

○都市拠点の整備(3-1-2)

- ・ 西口ロータリー面倒くさくなった
- ・ 新しくした川越駅西口、降りても何もなし

○景観に配慮したまちづくり(3-1-4)

- ・ くらづくりはキレイ
- ・ 整った川越
- ・ 道がキレイ

○道路交通体系の整備(3-2-1)

- ・ 歩行者が安全に歩ける町
- ・ 歩道が少ない
- ・ バス通りを歩きやすくしよう！
- ・ 渋滞緩和、道の整備
- ・ 実家の近くの道路工事が遅い
- ・ 散歩したくなる町
- ・ 道の整備
- ・ 旧道の歩道が狭い

○交通円滑化方策の推進(3-2-2)

- ・ 観光客が歩道に広がりすぎて自転車が通りにくい

○公共交通機関の充実(3-2-3)

- ・ 川越市以降の終電が早い
- ・ 地元のバスが少ない
- ・ 東武バスの遅延
- ・ 東上線の事故の減少させる
- ・ 郊外にも駅を作ろう
- ・ 川越市～霞ヶ関の距離感が長い
- ・ 南大塚駅の孤立
- ・ 川越市駅と本川越駅と川越駅の距離感がビミョウ！
- ・ シャトルバスの本数が少ない
- ・ 終電が早い
- ・ 川越駅の踏切問題
- ・ バス停にイスがない
- ・ バスがわかりにくい
- ・ 桶川駅行きのバスが少ない

- ・ 駅に向かうバスがない
- ・ 都市部へのアクセス、駅の整備
- ・ 東京へのアクセス
- ・ アクセス（埼京線）
- ・ ホームに屋根がほしい
- ・ 川高の近くに駅がある
- ・ 埼京線もっと本数ほしい

○公園の整備と充実(3-3-5)

- ・ 公園が少ない
- ・ 公園の整備
- ・ 自由な公園が少ない

○快適な住宅・住環境の整備(3-3-6)

- ・ 川越市駅の周辺の高級住宅街は微妙

●産業・観光

○商業の振興(4-1-4)

- ・ クレアモールがさかえているのか、いないのか
- ・ 話題性のある店を取り入れて活性化
- ・ 夜中は磯丸水産（居酒屋）しか開いていない、始発もない
- ・ 駅周辺にパチンコが多いのは若者のイメージダウンにつながるのではないか

○観光環境の整備(4-2-2)

- ・ トイレの整備が必要
- ・ 観光案内があまい！！
- ・ 観光地だけど範囲が広い
- ・ 祭りの時の治安が悪い
- ・ 休憩場所がもっとほしい

○新たな観光事業の推進(4-2-1)

- ・ 外国人でもわかる案内が必要
- ・ 昔ながらの街並みに頼りすぎ！！
- ・ 小江戸川越の認知度
- ・ 川越まつりアピール不足
- ・ いも以外の名産品もある
- ・ 観光名所が多い町
- ・ ときも以外のゆるキャラ

●環境

○計画的な環境事業の推進(5-1-1)

- ・環境に優しい町
- 廃棄物の適正処理(5-2-3)
 - ・ゴミが多い所もある
 - ・ゴミ問題
- 自然環境の保全(5-3-1)
 - ・緑を残してほしい
 - ・変に都市化しない
 - ・自然が多い
- 生活環境の保全(5-3-2)
 - ・静かな川越
 - ・落ち着いた夜
 - ・空気がキレイ
 - ・川がきれい
 - ・キレイな川越
- 地域社会と市民生活
- 防災体制の整備(6-2-1)
 - ・災害強い町
- 防犯対策の推進(6-2-3)
 - ・クレアモールの一本裏とかが暗くて怖い
 - ・郊外の電灯が少ない
 - ・治安を維持してほしい
 - ・グリーンパークの孤立
 - ・犯罪がない町
 - ・不良が少ない
- 交通安全対策の推進(6-2-4)
 - ・自転車の事故を減らす
 - ・駅周辺の治安が悪い
 - ・信号無視が多い
 - ・路上駐車
 - ・駐輪場無料にしてほしい
 - ・駅前の路上駐車
 - ・駐車場ぼったくり

(3) 実現方策に係る言葉

- 保健・医療・福祉
 - ・高齢化に対してちゃんとした対応ができる町

- ・ 学生に優しい町（学割等）
- ・ 東松山の『3day マーチ』のような企画をし、市民間が交流できる場を増やす
- 教育・文化・スポーツ
 - ・ 小中学校にクーラー設置
 - ・ 小中学校にもっとお金をかける
 - ・ 学校と公共団体の連携強化
- 都市基盤・生活基盤
 - ・ 「ボール遊び禁止」をなくす
 - ・ 時の鐘などの昔からの街並みをきれいなまま（今のまま）保存していく
 - ・ 住宅地に大きな公園を増やす
 - ・ 公園の遊具を充実させる
 - ・ 川越市街以外のバスを充実させる
 - ・ 西武新宿線と東武東上線の乗り換えを便利にする
 - ・ 中心市街地以外の道路整備を進めてほしい
 - ・ 観光都市としての交通網整備が必要
 - ・ 安全、スムーズな交通網の整備が必要
 - ・ 地下道の整備
 - ・ 郊外の交通整備の整備が必要
 - ・ 市内循環バスの充実が必要
 - ・ 田舎と都市部の格差が少ない
- 産業・観光
 - ・ “川越の水”のようなものを作る
 - ・ 『祭』アピール
 - ・ 特産物『さつまいも』のアピール
 - ・ ご当地アイドル有名に！
 - ・ 観光客による収入、町おこし
 - ・ 観光都市としてのバリアフリー発展
 - ・ 観光名所が多い町
- 環境
 - ・ 施設、環境のアピール
 - ・ ごみ焼却場の火力を強くして、全てのごみを可燃ごみとして処理できるようにする。
 - ・ 「ゴミ0運動」を強化して、きれいなまちづくり
- 地域社会と市民生活

- ・地域の交流の場を増やす
- ・川越市の高校生による地域へのお手伝い
- ・若者へのボランティアなど社会的体験を多く入れる

●その他

- ・子供の意見も聞いてほしい

3 参考資料

(1) 実施概要

○目的

将来の本市を担う若い人たちの意見を次期川越市総合計画に反映させるため、ワークショップを行うものである。

○対象者

川越少年の船・翼修了者の会（ミストラル）会員

○実施日時

平成26年8月10日（日）18：15～20：00

※ミストラル8月定例会の開催前に実施した。

○実施場所 中央公民館 3階 軽体育室

(2) 実施方法

○テーマ

ずっと住み続けたいまち（住んでみたいまち）を目指して

○ワークショップの方法

ワークショップでは、付せんを用いてKJ法という手法を参考に実施した。

(3) 実施結果

○参加人数及び属性

	高校生	大学生	社会人	計
男性	2人	10人	6人	18人
女性	5人	0人	0人	5人
計	7人	10人	6人	23人

○川越が目指すべき姿

ずっと住み続けたいまちを目指すため、各班が最終的にまとめた、将来、川越が目指すべき姿は以下のとおりとなった。

第1班 人々とつながるまち 川越

第2班 どこでも便利な自慢のまち 川越

第3班 期待感 行きたい感 一体感 川越

第4班 整ったまち川越！ ～ 人×夢×笑顔＝川越 ～

若者ワークショップ

5 外国籍市民インタビュー

1 外国籍市民インタビューの結果

目的：人口の約1.5%を占める外国籍市民に住み続けたいまちづくりについてアンケートを行い、多様な意見及びニーズを把握する。

- ① 魅力について「交通が便利」「住みやすい」といった点、また商業や観光についてのコメントが多い。
- ② 課題について交通や道路などの都市基盤に関すること、商業についての意見が多い
- ③ 力を入れるべき取組について「スポーツ」「交通」「道路整備」「防犯」「商店」などの言葉が多い。また、道路や交通、商店街など、都市としての機能が整備されていること、スポーツができること、人とのつながりがあり、安全で安心であることが求められている。
- ④ 個別施策の参考意見
 - ・多文化共生のまちづくりへの交流や相互理解の必要性
外国籍市民の特性を生かした社会参加への関心
→地域コミュニティ活動の推進
 - ・普段の生活で困っていること：「税金等の支払い」「日本語」「病気」「仕事探し」
→「仕事探し」の支援についての検討
 - ・スポーツに関する要望の多さ
→公共施設等の使用の仕方についての周知方法の検討
 - ・川越の魅力の理解者としての外国籍市民の存在
→魅力を広めることへの協力依頼の検討

〈将来都市像〉（同様の意見はまとめて掲載）

- ・子どもの教育を応援するまち
- ・歴史を大切にしたいまち
- ・歴史的遺産を守るまち
- ・外国籍の市民も誇りを持って住みやすいまち
- ・多文化共生のまち
- ・真に開放的な国際化のまち
- ・木がいっぱい緑いっぱい
- ・交通便利なまち

- ・静かで住みやすいまち
- ・仕事があるまち
- ・活気あふれるまち
- ・観光のまち
- ・安全なまち
- ・人とのつながりが強いまち
- ・安全なまち
- ・若者もお年寄りも暮らしやすいまち

〈魅力〉（多く意見が出された施策）

- ・快適な住宅・住環境の整備（3-3-6）
- ・公共交通機関の充実（3-2-3）
- ・商業の振興（4-1-4）
- ・文化財の保存・活用（2-3-1）
- ・多文化共生と国際交流・協力の推進（2-4-1）

〈課題〉（多く意見が出された施策）

- ・商業の振興（4-1-4）
- ・公共交通機関の充実（3-2-3）
- ・地域コミュニティ活動の推進（6-1-1）
- ・多文化共生と国際交流・協力の推進（2-4-1）
- ・道路交通体系の整備（3-2-1）

〈力を入れるべき取組〉（多く意見が出された施策）

- ・多文化共生と国際交流・協力の推進（2-4-1）
- ・生涯スポーツの推進（2-5-1）
- ・公共交通機関の充実（3-2-3）
- ・地域コミュニティ活動の推進（6-1-1）
- ・道路交通体系の整備（3-2-1）

※（ ）内は第三次川越市総合計画後期基本計画の施策番号

2 総合計画の体系別にした市民等の言葉

(1) 将来都市像に係る言葉

●教育・文化・スポーツ

- ・子どもの教育を応援する
- ・歴史を大切にしたいまち
- ・古いものを大事にするまち
- ・小江戸川越をもっと広げて京都みたいな感じがいいと思う平和なまち
- ・歴史的遺産を守るまち
- ・外国籍の市民も誇りを持って住みやすいまち
- ・快適で外国人に友好的なまち
- ・多文化共生のまち
- ・国際交流できるまち
- ・真に開放的な国際化のまち
- ・多文化共生できるまち
- ・スポーツができるまち

●都市基盤・生活基盤

- ・木がいっぱい緑いっぱい
- ・きれいな、歴史がある、古いまち
- ・景観がもっときれいなまち
- ・交通便利なまち
- ・静かで住みやすいまち
- ・伝統的な建物が残っていて、きれいで、交通便利なまち
- ・とても快適なまち
- ・便利なまち

●産業・観光

- ・仕事がある
- ・活気溢れる
- ・観光のまち
- ・外国人がみておもしろいと思う（ロボットなど）ものがあるまち
- ・にぎやかなまち

●環境

- ・環境が良いまち

●地域社会と市民生活

- ・安全なまち
- ・人とのつながりが強い
- ・みんな近所付き合いしているように仲の良いまち
- ・みんなやさしく話しやすい
- ・人と人のつきあいがよい
- ・若者も年寄りも暮らしやすいまち
- ・心地よいまち

●その他

- ・更に好きなまち
- ・東京のようなまち

(2) 魅力に係る言葉

●保健・医療・福祉

○児童福祉の推進(1-1-1)

- ・子育て支援に力を入れて子育て世代に過ごしやすいまちです
- ・新河岸は子育てに便利で落ち着いたまちです

●教育・文化・スポーツ

○文化財の保存・活用(2-3-1)

- ・歴史があり魅力あるまちです。
- ・小江戸の魅力
- ・おまつり
- ・昔の日本を感じる。古い文化が多い
- ・個人的に蔵造りが大好き

○多文化共生と国際交流・協力の推進(2-4-1)

- ・同じ国出身の人が大勢いる
- ・外国籍だからと特別視されない、多文化共生
- ・大抵の人は親切で、外国人を助けようとする気持ちがある
- ・クラッセ、国際交流センターがあること

●都市基盤・生活基盤

○都市拠点の整備(3-1-2)

- ・駅に近いところはにぎやかです

○景観に配慮したまちづくり(3-1-4)

- ・自然と都市が半々でバランスよく存在しているところ、また古くからの建物（時の鐘）や町（菓子屋横丁など）をのこして大切にしているところ
- ・伝統的な建物や静かなまちみたいな場所の近くにも大きい都市みたいなところもあるのでいろいろな楽しいことができる

○公共交通機関の充実(3-2-3)

- ・交通の便がよい

○水辺と森林の整備(3-3-4)

- ・緑が多い、環境がよい、都内と比べて自然が残っている（川、畑、空気）
- ・田舎でのどか

○公園の整備と充実(3-3-5)

- ・大きい公園がある

○快適な住宅・住環境の整備(3-3-6)

- ・東京より物価が安い、家賃も安い
- ・生活しやすい、住みやすい

●産業・観光

○雇用の促進と労働環境の改善(4-1-2)

- ・外国人にも仕事がある

○商業の振興(4-1-4)

- ・飲食店が多くある
- ・小さくて静かなまちである。店、レストラン、その他必要な場所が揃っている
- ・遊ぶところ、買い物できるところがある
- ・コンパクトで買い物に便利なところ

●地域社会と市民生活

○平和で思いやりのある地域社会づくり(6-1-2)

- ・人が東京よりやさしい

○防犯対策の推進(6-2-3)

- ・犯罪がない
- ・静か、夜間が静かでよく休めること

●その他

- ・東京に近い

(3) 課題に係る言葉

●共通

○新たな行財政運営システムの構築(6-2-1)

- ・公的サービスについて知る機会が少ない

○財源の確保(6-2-3)

- ・市県民税と国民健康保険が高いです

●保健・福祉・医療

○保健衛生・医療体制の充実(1-2-2)

- ・市内の病院は休日夜間の対応が悪いところ

●教育・文化・スポーツ

○豊かな人間性をはぐくむ教育の推進(2-2-1)

- ・教育にもっと予算を使うべき

○多文化共生と国際交流・協力の推進(2-4-1)

- ・英語で対応できる場所、機会等が少ない
- ・外国語が通じない
- ・外国人が交流する場所が少ない

○生涯スポーツの推進(2-5-1)

- ・サッカー場が学生用しかない
- ・プールがない

●都市基盤・生活基盤

○道路交通体制の整備(3-2-1)

- ・道路が狭い、交通安全に不安があります
- ・小道がわかりにくいところ

○公共交通機関の充実(3-2-3)

- ・市内の交通が不便
- ・バスの本数が少ない、あまり住宅の近くでない

○公園の整備と充実(3-3-5)

- ・公園不足

●産業・観光

○雇用の促進と労働環境の改善(4-1-2)

- ・アルバイトの時給が安い
- ・時給が安い
- ・仕事を探すことが難しい感覚がある

○商業の振興(4-1-4)

- ・遊ぶところが少ない
- ・おいしい店が少ない
- ・買い物が不便
- ・買い物が高い
- ・電気屋さんがない、商店街が多いけど雰囲気が悪い
- ・市内の店は閉店が早いところ
- ・蔵の街がおもしろいがとても早く閉まる

○新たな観光事業の推進(4-2-1)

- ・観光にもっと力を入れてアピールした方がよいと思います

●環境

○ごみの減量化・資源化(5-2-2)

- ・環境がよくない、きたない、ゴミ箱が少ない

●地域社会と市民生活

○地域コミュニティ活動の推進(6-1-1)

- ・人との交流がない
- ・人々の物事に対してのとりくむ姿勢に差がある（町の行事やイベント）
- ・人や市役所との交流が少ない

○交通安全対策の推進(6-2-4)

- ・自転車専用車線が設けてない、危険
- ・自転車置き場が限られており、盗難対策が取られていない

(4) 実現方策に係る言葉

●保健・医療・福祉

○高齢者福祉の推進(1-1-2)

- ・定年後活動できる場所が必要ではないかと思います

●教育・文化・スポーツ

○豊かな人間性をはぐくむ教育(2-2-1)

- ・現在学校の先生たちの負担が多く心身ともに疲れている先生もいらっしゃいます。教員の増員及び先生へのカウンセリングの導入が必要あるのではないかと

○文化財の保存・活用(2-3-2)

- ・特に小江戸の文化をよく保存してみんなで守って将来の子孫が環境を感じていけるように皆で努力していただければよいと思います

○多文化共生と国際交流・協力の推進(2-4-1)

- ・外国人と日本人とつながり、外国人と意思疎通を図れるようにする

- ・外国籍の人をもっと重視し、もっと活用すること
- ・留学生が参加できるミーティングをたくさんつくること
- ・外国の文化紹介をするコーナーを設けて、市内に在住の外国籍市民を紹介する機会を作ること。外国籍市民と日本の市民との触れ合いを増すこと
- ・外国語での情報提供、医療現場の通訳等。電車、バスの案内表示の外国語の表示
- ・地域による習慣も違うので、その学習が必要と思います

○生涯スポーツの推進(2-5-1)

- ・スポーツができるような公園
- ・スポーツをする場所が必要、スポーツの情報をわかりやすくする

●都市基盤・生活基盤

○道路交通体系の整備(3-2-1)

- ・学校への道路通学路整備が必要である、通学路の信号を多く
- ・川越の道路が狭く、特に田舎に行くと歩道也没有。道路を整備して自転車専用車道を設けることと、通学バスの整備などが必要だと思います
- ・道路を広くする
- ・車道と歩道を分離するようなことが必要だと思います

○公共交通機関の充実(3-2-3)

- ・交通料金を安くする、廉価な公共交通を増やす

●産業・観光

○雇用の促進と労働環境の改善(4-1-2)

- ・雇用の情報の入手方法

○商業の振興(4-1-4)

- ・商店街を増やしていく、商店街でまつりをおこなうこと

○新たな観光事業の推進(4-2-1)

- ・観光事業に関しては外国人の観光率アップ
- ・外国と日本人も訪れやすい街
- ・観光事業の繁盛のために、外国籍市民をもっと重視して活用させること
- ・歴史だけでなく、川越市の今ももっとアピールした方がいいと思います

●環境

○ごみの減量化・資源化(5-2-2)

- ・ゴミの減量化リサイクル

○自然環境の保全(5-3-1)

- ・雑木林の減少防止、自然は最も重要なことで守ることは当然だと思います

●地域社会と市民生活

○地域コミュニティ活動の推進(6-1-1)

- ・地域の人々の理解と親睦をもっと深めるためのイベントや活動を増やすべき
- ・自分のことがきちんとできるまち、近所の見方づくり人とのつながり

- ・もっとコミュニティにかかわれるような資源

○防犯対策の推進(6-2-3)

- ・夜暗いのでライトで明るくしてほしい
- ・女性に防犯の知識を教える、警察が夜中の時間帯に住宅街を不定期に巡回
- ・緊急時や問い合わせ用のフリーダイヤルをつくる

○交通安全対策の推進(6-2-4)

- ・自転車の無料駐車場が少ない

3 参考資料

(1) 実施概要

○趣 旨

現在人口の約1.4%を占め、また、今後増加が予想される外国籍市民はグローバル化が進展する中で、それぞれが持つ文化的背景から地域の魅力を高める存在としての可能性も持っていることから、住み続けたいまちづくりについて外国籍市民の意識を調査した。

○対 象 者

タウンミーティング参加者、クラスの日本語教室の学習者、留学生等

○実施日時

平成26年8月28日、9月19日、9月22日、9月26日他

○実施場所

市役所、クラスセ川越国際交流センター、
尚美学園大学

(2) 実施方法

○ねらい

外国籍市民から見た住みやすいまちづくり
について意見を聴取する。

○調査方法

日本語教室学習者には対面インタビュー方式、それ以外はアンケート。



(3) 実施結果・基本情報 回答者数 16 か国 131 人

●日本語能力 (人)	
上級	36
中級	68
初級	26
無回答	1
	131

●母国語 (人)	
中国語	91
韓国・朝鮮語	5
ポルトガル語	2
スペイン語	2
ベトナム語	3
英語	7
その他	20
不明	1
	131

●性別 (人)	
男性	65
女性	65
無回答	1
	131

●住所 (人)	
市内	63
市外	67
無回答	1
	131

●年齢 (人)	
10代	7
20代	92
30代	19
40代	7
50代	5
60代～	1
	131

●職業 (人)	
有	44
無	86
無回答	1
	131
◎職業内訳	
製造業	8
サービス業	2
飲食店・宿泊業	14
卸売・小売業	2
建設業	3
その他	13
不明	2
学生	73
専業主婦	9
その他	4
無回答	1
	131

●出身国 (人)	
中国	89
ネパール	7
タイ	5
アメリカ	4
マレーシア	4
韓国	3
ベトナム	3
ドイツ	2
ブラジル	2
インド	1
インドネシア	1
カメルーン	1
ニカラグア	1
パキスタン	1
香港	1
モンゴル	1
無回答	5
	131

●同居形態 (人)	
夫婦	19
親子	15
親子孫	1
ひとり	45
その他	51
	131

●同居人 (人)	
就学前	11
小学生	7
中学生	9
65歳以上	3

第4 エリアインタビュー

1 エリアインタビュー実施報告

(1) 目的

《開催目的》

- ・次期総合計画を策定するにあたり、課題や将来に向けた市民のニーズが、各地域に違いがあるのかを把握すること。
- ・全地域で共通した課題や将来に向けた市民ニーズを把握し、次期総合計画の基本構想(草案)の策定に生かすこと。
- ・ワールドカフェ方式で実施することにより、地域のコミュニティ活性化のきっかけとすること。

(2) 実施方法

ワールドカフェ方式により実施

エリアインタビューは、多くの参加者が意見しやすいように、説明会方式ではなく、「ワールドカフェ」といわれる市民参加の手法で行い、参加者それぞれグループで話し合いを行った。

《ワールド・カフェ》

- ◇本物のカフェのようなリラックスした雰囲気の中で、問いに集中した会話を行う。
- ◇メンバーの組み合わせを変えながら、4～5人単位の小グループで話し合いを続けることにより、あたかも参加者全員で話し合っているような効果が得られる。
- ◇参加者のアイデアがつながりあって、新しいアイデアや気づき生まれる。

(3) 開催時期・出席人数

○開催状況

	1回目		2回目		合計(人)
	日にち	出席数(人)	日にち	出席数(人)	
中央公民館	10月30日	13	11月16日	13	26
南公民館	10月30日	9	11月16日	28	37
北公民館	10月30日	14	11月16日	11	25
芳野公民館	11月2日	36	11月30日	16	52
古谷公民館	11月2日	28	11月30日	13	41
南古谷公民館	10月12日	20	11月15日	16	36
高階公民館	10月18日	11	11月2日	11	22
高階南公民館	10月5日	17	11月2日	27	44
福原公民館	11月2日	18	12月4日	23	41
大東公民館	10月5日	23	11月30日	22	45
大東南公民館	10月5日	19	11月9日	12	31
霞ヶ関公民館	10月12日	12	11月8日	25	37
霞ヶ関北公民館	11月16日	19	11月30日	15	34
伊勢原公民館	10月12日	18	11月9日	12	30
川鶴公民館	10月12日	11	11月9日	7	18
名細公民館	10月11日	21	11月9日	12	33
山田公民館	11月16日	21	11月30日	18	39
合計		310		281	591

(4) 実施内容

ア 第1回目のエリアインタビュー

《問い》

★地域で生活しているなかで気になっていること（課題）、また、この地域の魅力について、それぞれの分野でお考えください。

○保健・医療・福祉、○教育・文化・スポーツ、○都市基盤・生活基盤

○産業・観光、○環境、○地域社会と市民生活



南公民館での話し合いの様子

イ 第2回目のエリアインタビュー

エリアインタビュー開催の趣旨や、第1回目に開催したエリアインタビューで出された意見を説明した。

また、今後の地域自治のあり方について、地域予算や地域からの事業提案制度など、他市の先進事例を紹介しながら説明した。

《問い》

★ずっと住み続けたいと思う地域になるためには何に力をいれていくべきでしょうか。

ウ ポスターセッション

第2回目のエリアインタビューの終了後に、エリアインタビューに参加できなかった方や、参加された方で、追加の意見がある方のために、市内全17公民館で、2回目のエリアインタビューの問いの内容についての自由記載を行うために、模造紙を掲示した。

(ア) 時期

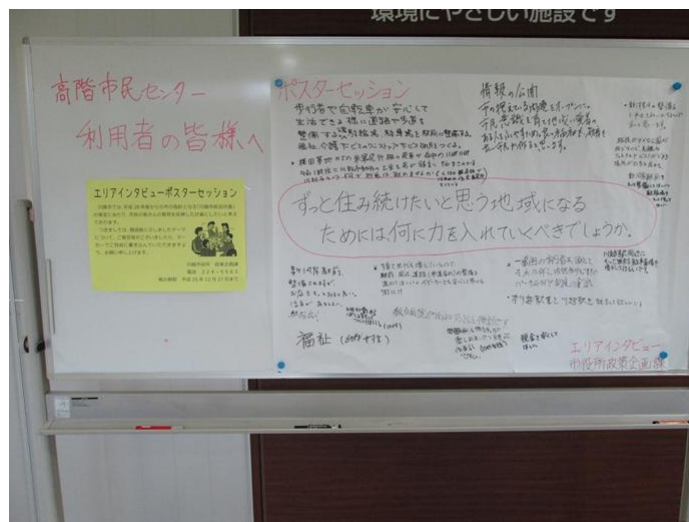
第2回目のエリアインタビュー終了後～平成25年12月末

(イ) 場所

市内全17公民館

(ウ) テーマ

ずっと住み続けたいと思う地域になるためには何に力をいれていくべきでしょうか。(2回目のエリアインタビューの問いと同様)



掲示された自由記載用の模造紙

2 エリアインタビューの結果

(1) 1回目のエリアインタビューの結果

ア 魅力

魅力面についての共通した意見は少なく、病院（通院）の利便性での魅力（保健・医療・福祉）が数か所の公民館で挙げられていた。

一方地域特有の魅力については、それぞれの公民館で意見が異なっている場合が多く、数か所から挙げられていた「自然環境」についても、川や沼など各地域それぞれの「自然環境」の魅力についての意見であった。

●保健・医療・福祉

病院の利便性（中央、北、芳野、高階、高階南）といった共通意見が出されているほか、児童数が多い（南古谷）、地域コミュニティ（山田）などの魅力が出されている。

●教育・文化・スポーツ

伝統行事（古谷）、地域行事（南古谷）、古墳（大東）少年野球（霞ヶ関）などの魅力が挙げられた。

●都市基盤・生活基盤

買い物の利便性（北）、自然（高階）、地盤が固い（福原）、インター（大東）などの魅力が挙げられた。

●産業・観光

小江戸の雰囲気（中央）、歴史的施設が多い（北）、野菜作り（芳野）、伊佐沼（古谷）、舟運などの歴史（高階南）、自然がある（大東）、かかし祭り（山田）、霞ヶ関カンツリー（霞ヶ関）など、各公民館で様々な魅力が挙げられた。

●地域社会と市民生活

子供が増えている（南古谷）、グラウンドゴルフ（古谷）、公民館活動が活発（高階南）、老人会活動（名細）、地域パトロール（霞ヶ関）などが挙げられた。

イ 課題

課題については、各公民館で共通の課題と、地域特有の課題が挙げられた。

●保健・医療・福祉

複数意見として、(シャトル)バスなどの交通の問題(中央、高階、大東)やコミュニティ(北、伊勢原)、病院が少ない(霞ヶ関、福原)といった意見が出されていた。地域特有の課題として、高齢者の増加(霞ヶ関北)などの意見があった。

●教育・文化・スポーツ

複数意見として学校開放(中央、福原)、(地域・世代間)交流(霞ヶ関、川鶴)といった意見が出されていた。地域特有の課題として、東洋大学とのかかわり(名細)などの意見があった。

●都市基盤・生活基盤

複数意見として、下水道整備(南古谷、福原)、道路整備(高階、高階南、大東南、山田、霞ヶ関、伊勢原)といった意見が出された。

●産業・観光

複数意見として、農業後継者問題(高階南、福原)、空き店舗等の商店街の問題(南、山田、川鶴)といった意見が出された。

地域特有の課題として、芳野工業団地周辺の交通(芳野)、伊佐沼の整備(古谷)、農産物直売所の設置(南古谷)などの意見が出された。

●環境

複数意見として、ゴミの分別・マナー(中央、北、名細)などの意見が出されました。

地域特有の課題として、調整池の整備(高階、高階南)、伊佐沼の整備(芳野)などの意見が出された。

●地域社会と市民生活

複数意見として、コミュニティ(南、高階南、霞ヶ関、川鶴)、世代間交流(南、古谷、高階、山田、川鶴)、などの意見が出されました。地域特有の課題として、新旧住民との交流(大東)などの意見が出された。

「魅力」のまとめ

		保健・医療 福祉	教育・文化 スポーツ	都市基盤 生活基盤	産業・観光	環境	地域社会 市民生活
1	中央	病院	文化に力を入れる	道路環境 公共交通は良い	小江戸雰囲気	騒音がナイ	—
2	南	公園	—	—	—	—	—
3	北	病院	散歩に適した場所が多い	買い物の利便性	歴史的施設が多い	安全な環境	ゴミの清浄活動
4	芳野	病院 地域医療の充実	—	花火	野菜作り 農産物直売所	生き物	—
5	古谷	埼玉医大 ボランティア活動	伝統行事	古尾谷八幡神社	伊佐沼	林、お花	グランドゴルフ
6	南古谷	小学校の児童数が多い	地域行事	—	—	ゴミが気にならない 用水路掃除	子供が増えている
7	高階	病院	あいさつ活動	自然環境	川	あいさつ活動	あいさつ活動
8	高階南	病院	スポーツ盛ん	水害対策ができています	歴史(特に舟運)	自主パトロール	公民館活動が活発
9	福原	健康な人が多い	部活動以外の活動も盛ん	自然、地盤が固い 地域のつながり	—	自然環境	災害が少ない
10	大東	横のつながり	古墳	心のつながりが太い	自然環境	自主的公園清掃	声を掛け合う優しい住民
11	大東南	ラジオ体操の推進	スポーツの歴史がある	インターがある	自然災害が少ない	公園の充実	道路(関越)の利便性
12	山田	地域コミュニケーション	スポーツクラブの活躍	道路改良で車は通りやすい	かかし祭り	大気がきれい	パトロール
13	名瀬	—	親子で楽しめるスポーツ大会	神社、河越館跡がある	良いお店がある	豊かな自然	老人会活動
14	霞ヶ関	福祉施設	少年野球	公園整備	農産物直売所 霞ヶ関カンツリー	—	地域パトロール
15	霞ヶ関北	老人食事会	地域の学校支援	—	農業(ぶどう・茶畑)	—	霞ヶ関駅北口
16	伊勢原	歴史ある街公民館活動活発	公園整備されている 学校・公民館・図書館一元化	住みやすい住宅環境	空気、町がきれい 桜並木	住環境は最高	ボランティア活発
17	川鶴	—	地域活動が活発	区画整理	農園、自然	自然、散歩	住環境

「課題」のまとめ

		保健・医療 福祉	教育・文化 スポーツ	都市基盤 生活基盤	産業・観光	環境	地域社会 市民生活
1	中央	シャトルバス	学校開放	特色を生かした街づくり	買い物(高齢者)	ゴミの分別	地域の社会貢献
2	南	避難場所	学校(教師・設備)	公園 土地区画整理	個人商店消滅	騒音、排ガス	コミュニティ (世代間交流等)
3	北	コミュニティ	体を動かす(運動する)場	公共交通	農業(水田)	ゴミのマナー	交通安全
4	芳野	老人ホームデイサービス	教師の指導力	生活道路 下水道	芳野工業団地 周辺の交通	伊佐沼の整備	リーダー不在 リーダー養成の必要性
5	古谷	下水道整備	子供が少ない 地域行事参加者減	街灯	伊佐沼の整備	公園	保育園の老朽化 世代間交流
6	南古谷	総合病院が地域に1つ	運動場	下水道整備	農産物直売所が欲しい	線路進入防止策が必要	通学路整備
7	高階	バスが不便	体を動かす(運動する)場	土地区画 道路整備	歴史を生かしてない	道路整備(暗い) 調整池の整備	世代間交流
8	高階南	公民館活動見直し	運動する場	土地区画 道路整備	農業(高齢化・ 地産地消)	道路整備(暗い) 調整池の整備	コミュニティ
9	福原	病院がない	学校開放	下水道整備	農業(後継者・ 生産物)	道路整備 川の環境悪化、ゴミ	防災 (意識が低い、消防署ナシ)
10	大東	シャトルバス	学校連携	道路が狭い	観光のPR不足	緑を残す・増やす	新旧住民との交流
11	大東南	認知症(福祉)	子供サポート	道路整備	後継者不足	公園	子供遊び場
12	山田	相談窓口の開設	学校整備	道路整備	個人商店消滅	自然環境保持	世代間交流
13	名瀬	定期健診を	東洋大のかかわり	河川整備	休耕地の活用	ゴミ出しのマナー	親の教育
14	霞ヶ関	病院が少ない	地域・世代間交流	自転車道 道路整備	農業アドバイザー を公民館に	不法投棄 霞ヶ関カントリー 周辺整備	交通公園、自転 車マップ コミュニティ
15	霞ヶ関北	増する高齢者	公民館について	シャトルバス住宅	人材センター	循環型社会	交通
16	伊勢原	コミュニティ	学校整備	道路整備	川	樹木	高齢者の集う場所
17	川鶴	ボランティア活動 健康予防	世代間交流	バス	商店街の活性化	樹木	コミュニティ(世代間交流、コ ミュニティーカフ ェ、公園カフェ)

(2) 第2回目のエリアインタビューの結果

ア まとめ手順

1回目のエリアインタビューと同様に、各17公民館でのエリアインタビューで出された意見が記載された模造紙から意見をそのまま入力しデータ化を行い、キーワードごとにまとめたうえで、それぞれ上位5つのキーワードをまとめている。

イ 結果

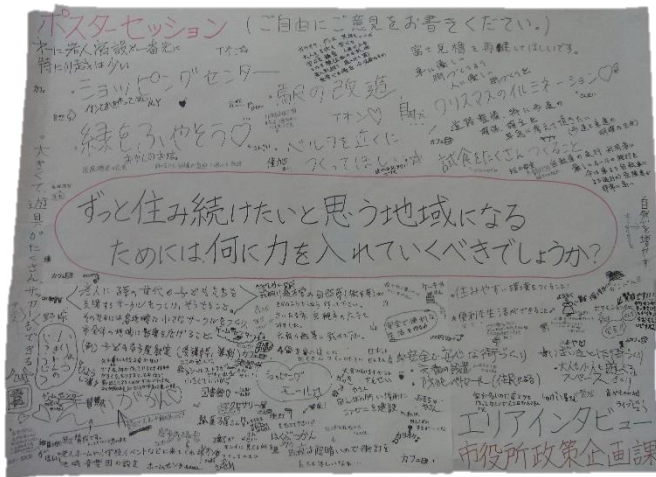
- ・「コミュニティ」を上位5位までに挙げた公民館が17公民館中15館に及び、「コミュニティ」に対する市民の関心の高さは川越市全体的なことと思われる。
- ・「交通」を上位5位までに挙げた公民館が9館、「道路整備」は6館ある。
- ・地域に特色があるキーワードとして、「観光」(中央)、「まつり」(北)、「農業」(福原)などが挙げられている。

○第2回エリアインタビュー分析

	1	2	3	4	5
中央公民館	コミュニティ	観光	空き家対策	高齢者	防犯防災
南公民館	コミュニティ	高齢者	子育て	駅前周辺開発	交通(通学路)
北公民館	子育て	空き家対策	コミュニティ	まつり	交通(通学路)
芳野公民館	公民館	自治会	交通(通学路)	コミュニティ	高齢者
古谷公民館	コミュニティ	買い物	道路整備	高齢者	教育(学校)
南古谷公民館	コミュニティ	高齢者	教育(学校)	地域活性化	自然環境、生活環境
高階公民館	行政サービス向上	防犯防災	コミュニティ	交通(通学路)	自然環境、生活環境
高階南公民館	道路整備	生活環境	教育(学校)	医療	コミュニティ
福原公民館	農業	コミュニティ	高齢者	公共施設	地域の歴史文化
大東公民館	行政サービス向上	道路整備	交通(通学路)	公園	コミュニティ
大東南公民館	道路整備	コミュニティ	高齢者	防犯防災	医療
山田公民館	教育(学校)	コミュニティ	交通(通学路)	防犯防災	高齢者
名細公民館	教育(学校)	地域活性化	コミュニティ	自然環境	下水道
霞ヶ関公民館	交通(通学路)	道路整備	コミュニティ	自然環境	公園
霞ヶ関北公民館	交通(通学路)	生活環境	高齢者	道路整備	防犯防災
伊勢原公民館	教育(学校)	ボランティア	交通(通学路)	防犯防災	自治会
川鶴公民館	コミュニティ	教育(学校)	医療	交通(通学路)	行政サービス

(3) ポスターセッションの結果

「何に力を入れるべきか」という問いに対して記入されたものだが、「コミュニティ」と「自然環境」を挙げた公民館がそれぞれ9館あり、「コミュニティ」の件数が第1位だった公民館は6館で、2回目のエリアインタビューの結果と同様、市全体の共通ニーズとして「コミュニティ」があることが読み取れる。



書き込まれた模造紙
 エリアインタビューには出席がなかった若年層
 とみられる書き込みも

○ポスターセッション公民館別上位3位のキーワード

	1	2	3
中央公民館	子育て	自然環境	交通安全、協働、観光、公園
南公民館	伊佐沼周辺整備	防犯	自然環境、交通安全、道路整備、公園
北公民館	自然環境	子育て、コミュニティ、道路整備、資源循環	—
芳野公民館	コミュニティ	交通安全	自然環境
古谷公民館	商業、医療、道路整備、子育て、高齢者、防犯	—	—
南古谷公民館	コミュニティ	子育て	公園、自然循環、防犯
高階公民館	娯楽、スポーツ施設	教育	—
高階南公民館	子育て、公園	コミュニティ、動物、商業施設	—
福原公民館	コミュニティ	—	—
大東公民館	医療、交通	—	—
大東南公民館	商業施設	娯楽・スポーツ施設	自然環境
山田公民館	道路整備	福祉	自然環境、建築制限、防災、農業
名細公民館	コミュニティ	公園、自然環境、子育て	自然環境、防災、障害者福祉、マナー、防犯 娯楽・スポーツ施設、
霞ヶ関公民館	コミュニティ	自然環境	ボランティア、防災、障害者福祉、防犯、文化、教育、生活環境、資源循環
霞ヶ関北公民館	マナー	交通安全	高齢者
伊勢原公民館	交通安全、商業施設	コミュニティ、公民館、バス交通、駅、娯楽・スポーツ施設	—
川鶴公民館	コミュニティ、マナー	子育て、公民館、行政改革、協働、高齢者、観光	—